

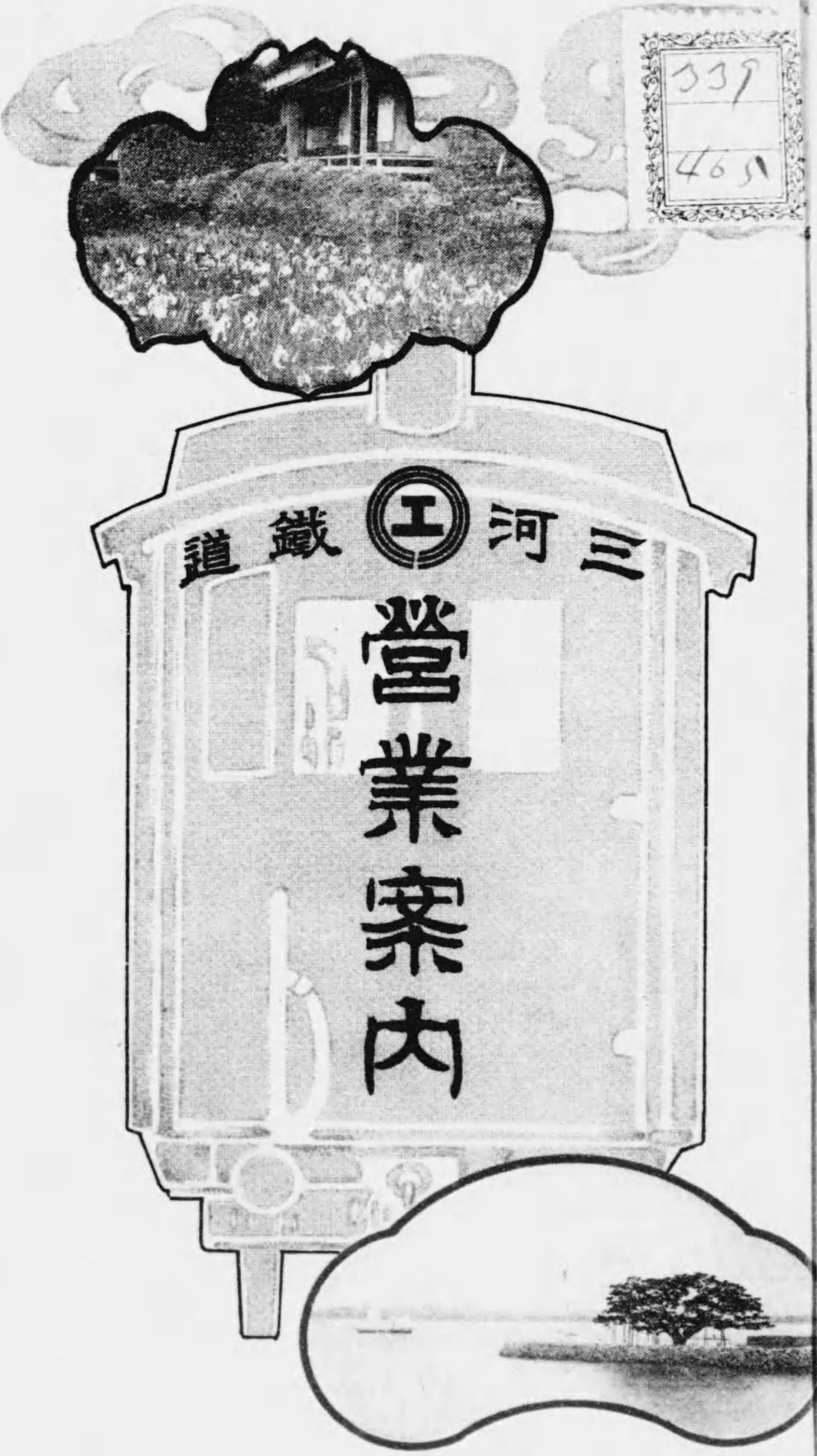
339
465

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 $\frac{3}{10}$ 1 2 3 4 5

始



339
4651



三河工鐵道

營業案内

339-465



河漢道營業案內

大正
3. 7. 20
丙交

凡例

一本案内は開業勿々諸般設備未だ完成せず調査の資料亦た十分ならず唯だ日常來往花客の諮問に答ふるに代る應急之を編す粗漏の譏りは固より甘受する所なり
一北部線の竣成も最早遠きに非ざるべし此全部開通の上は更に本編の改訂を期せんとす諒焉

大正三年五月

編者識

目次

(1)

一 緒言	一
一 刈谷新驛	四
知立町、知立神社、三弘法、八橋無量壽寺、引馬野、先帝行幸趾、	
一 刈谷町驛	九
刈谷町、龜城趾、松本奎堂碑、穴戸彌四郎碑、	
一 小垣江驛	十四
一 吉濱驛	十五
一 高濱港驛	十七
高濱町、真修坊、	
一 北新川停留場	十九
西端應仁寺、桃林、	

(2)

一 新川町驛

新川町、油ヶ淵、天王森、(一名新須磨)

二

一 大濱港驛

大濱町、稱名寺、傘松、棚尾村、平坂港、島巡り、伊勢參宮、

三十四

一 哩程及賃金の概要

營業哩程表、旅客賃金表、院社線連絡驛、特別驛割引、團體割引賃金、

三十三

回数乗車券、定期乗車券、手小荷物、

一 院線四驛特別連絡回数乗車券賃金表(裏表紙)

一 廣告(抽籤順)

自一
至三六

以上

附言 本編は去四月中の稿案に係り印刷已に成るの後事實の變化せる所なきに非ず
然れども今一々之を訂すの暇なし、諒之

三河鐵道營業案内

緒言

(1) 三河鐵道は東海道線刈谷驛に於て院線と連絡し、分岐して南は小垣江
吉濱、高濱、新川を経て大濱に達するもの延長九哩半、北は知立、八
橋、若林、土橋を経て舉母に達するもの延長拾壹哩半、合計貳拾壹哩
之を第一期線とし、其南部線は昨年一月工を起し、本年二月五日を以
て營業を開始す、北部線は今方さに起工の準備中にして遅くも本年内
には成工の豫定なり、而して更に大濱より南に伸ひ平坂、一色、吉田
幡豆、形原を経て蒲郡に到り東海道線に接続すべき延長拾九哩餘の線
路は第二期線として計畫中に屬し、已に其筋の認可を得、將さに實測

(2)

を○開○始○せ○ん○ど○す○る○の○状○況○に○在○り○、○以○上○全○線○貫○通○す○る○に○至○ら○ば○北○は○舉○母○
よ○り○南○は○蒲○郡○に○達○す○る○總○延○長○四○拾○哩○に○上○り○、○全○く○西○參○の○主○腦○部○を○連○絡○
す○る○有○力○な○る○交○通○機○關○と○し○て○重○要○の○地○位○を○占○む○る○に○至○る○べ○く○、○鐵○道○の○
面○目○亦○自○ら○一○新○す○る○を○得○ん○。

此○地○方○一○帶○固○と○不○毛○の○原○野○多○か○り○し○が○、○維○新○後○矢○矧○川○の○水○を○引○き○て○我○
國○用○水○中○の○巨○擘○と○稱○せ○ら○る○、○明○治○用○水○の○開○鑿○せ○ら○る○、○あ○り○、○近○年○又○同○
川○上○流○に○於○て○枝○垂○用○水○の○通○す○る○に○至○れ○る○あ○り○、○爲○め○に○附○近○の○林○野○盡○く○
拓○か○れ○、○今○や○穰○々○た○る○稻○田○萬○頃○に○連○な○り○、○米○穀○の○産○出○年○額○數○拾○萬○石○に○
上○り○、○貧○弱○の○鄉○土○忽○ち○化○し○て○富○裕○の○樂○境○た○る○に○至○れ○り○。

然○れ○ど○も○一○得○あ○れ○は○一○失○あ○り○、○矢○矧○川○は○東○海○道○中○有○數○の○大○河○に○し○て○其○
源○を○濃○信○の○境○峯○巒○重○疊○の○間○に○起○し○蛇○蜒○數○十○里○流○れ○て○衣○ヶ○浦○に○入○る○、○水○
豊○に○波○緩○に○萬○帆○の○來○往○織○る○か○如○く○、○古○來○山○地○海○濱○の○交○通○貨○送○は○一○に○此○

(3)

舟○揖○の○便○に○待○つ○の○状○況○な○り○し○に○、○上○記○二○大○用○水○の○開○通○と○共○に○年○内○の○過○
半○は○全○く○水○運○を○杜○絶○す○る○の○己○む○を○得○さ○る○に○至○り○、○隨○て○水○源○地○方○無○盡○藏○
の○寶○庫○は○再○ひ○封○鎖○の○運○命○に○陥○り○、○更○に○何○等○か○新○ら○し○き○鍵○鑰○を○附○與○せ○ら○
る○の○機○會○を○待○ち○つ○、○あ○り○、○三○河○鐵○道○は○乃○ち○此○鍵○鑰○に○任○せ○ん○と○す○る○天○
職○を○帶○び○て○生○れ○た○る○な○り○。

北○端○の○舉○母○地○方○は○濃○信○の○山○岳○に○連○り○最○林○産○及○礦○産○に○富○む○、○木○材○、○薪○炭○
石○材○、○磨○砂○、○陶○土○等○の○天○産○物○は○真○に○無○盡○藏○の○觀○あ○り○、○中○間○知○立○大○濱○の○
方○面○は○人○文○夙○に○開○け○産○業○殷○盛○を○極○む○、○就○中○、○瓦○、○土○管○、○焜○爐○、○煉○瓦○、○
味○醃○、○木○綿○等○の○工○産○品○は○何○れ○も○三○州○の○名○を○冠○し○て○全○國○に○稱○せ○ら○れ○、○米○
穀○、○蠶○糸○、○落○花○生○、○甘○藷○、○菜○根○等○の○農○産○物○又○遠○く○阪○神○の○市○場○に○搬○出○せ○
ら○る○、○大○濱○以○南○幡○豆○線○の○沿○岸○に○至○つ○て○は○海○産○物○の○豊○富○な○る○鮮○魚○の○東○京○
人○士○に○賞○賛○せ○ら○る○、○も○の○其○種○類○尠○か○ら○す○、○加○ふ○る○に○石○材○の○産○出○亦○頗○多○

(4)



社 本

量に上るあり、之を要するに本鐵道は其哩程の比較的短距離なるに拘はらず山嶽地方より海濱に及びて遍滿に産業の開發を助長すべき特色を有するものとす。

沿線一帯亦名勝舊蹟に富む今先開業せる線路附近に就き其概畧を紹介せん。

刈谷新驛

東海道線刈谷驛に隣接し貨客共に院線と連絡す、是より東京へ二百十八哩、横濱へ二百〇二哩、名古屋へ十五哩、

(5)

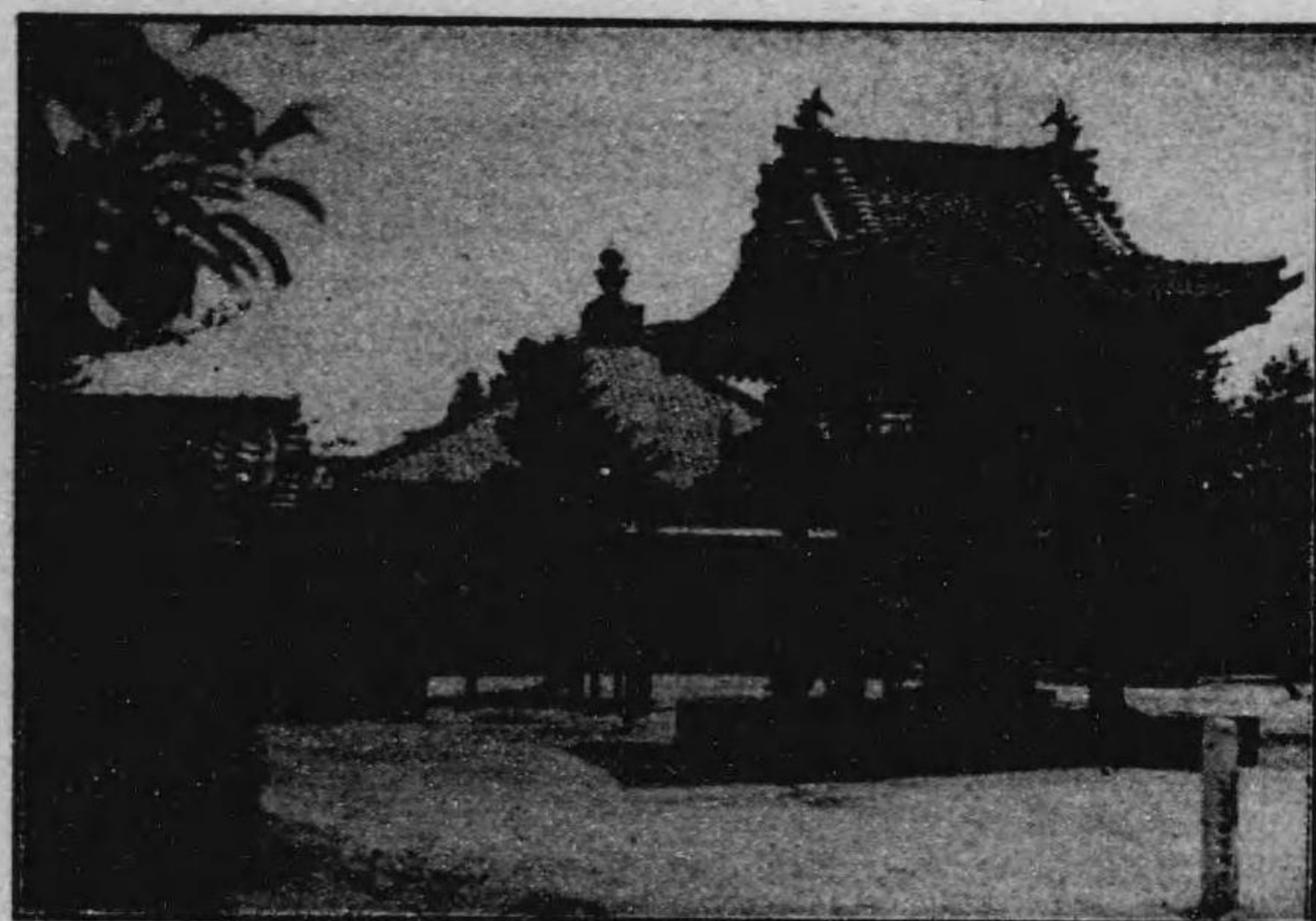
京都へ百〇九哩、大阪へ百三十六哩、神戸へ百五十六哩なり。
本社所在地にして機關庫、車庫等一切の設備茲にあり。

知立町 刈谷新驛より東北二哩余、戸數千六百、人口約九千、郡内屈指の名邑たり、舊時は東海道五十三驛の一にして旅客の往來殷盛を極めたりしが今は亦昔日の觀なし、然れども碧海郡衙、稅務署、登記所、工藝學校等の公設物あり、製糸工場、華蓆工場、製粉所、家畜市場等生産に關するもの亦尠



社 神 立 知

(6)



重原弘法

らす、最近郡衙の他に移轉せらるゝ議あり却て町民の覺醒を促かすの機運を來せるものゝ如し。

知立神社 又池鯉鮒神社と稱す、仲哀天皇元年の創立に係り鶴鴦草葺不合尊、彦火火出見尊、王依比賣命、神倭磐余彦尊の四神を祭る、延喜式内三河國二十六座の一にして歷朝の崇敬淺からず古來虻鼠除の守札を出し靈驗殊に著し、境内老樹多く鬱蒼として幽致あり就中多寶塔は明治四十年特別保護建造物に編入せらる、毎年四月大祭日は近

(7)

郷より參詣する者數萬に上ると云ふ。
三弘法 知立町字上重原遍照院は弘仁年間僧空海此地に錫を駐め說法するこゝと數年別れに菴み自ら像を刻んで遺せる所なり、後之を一里山及一ツ木に分置し俗に三弘法と稱し賽人常に絶へず殊に陰曆二十一日は遠近の老若群集して雜沓を極む

八橋無量壽寺 知立本町より東北三十町に在り、古來在原業平朝臣の舊蹟を以て著はる、朝臣東下の途次此地を過ぎりて杜若の咲けるを見「から衣着つゝ



八橋無量壽寺



野馬引

馴れにしつましあればはるく來ぬる
 旅をしそれもふ」と詠したりしは夙に
 人口に膾炙する所、寺内尙ほ杜若を栽
 ゑ。花時杖を曳く者頗多し、朝臣の遺物
 亦尙からず藏せらる、蓋し三河第一の
 勝蹟なり、茲より西方數丁、朝臣の杜
 若姫に邂逅せりと稱せらる、逢妻川あ
 り白魚を以て名産とす。

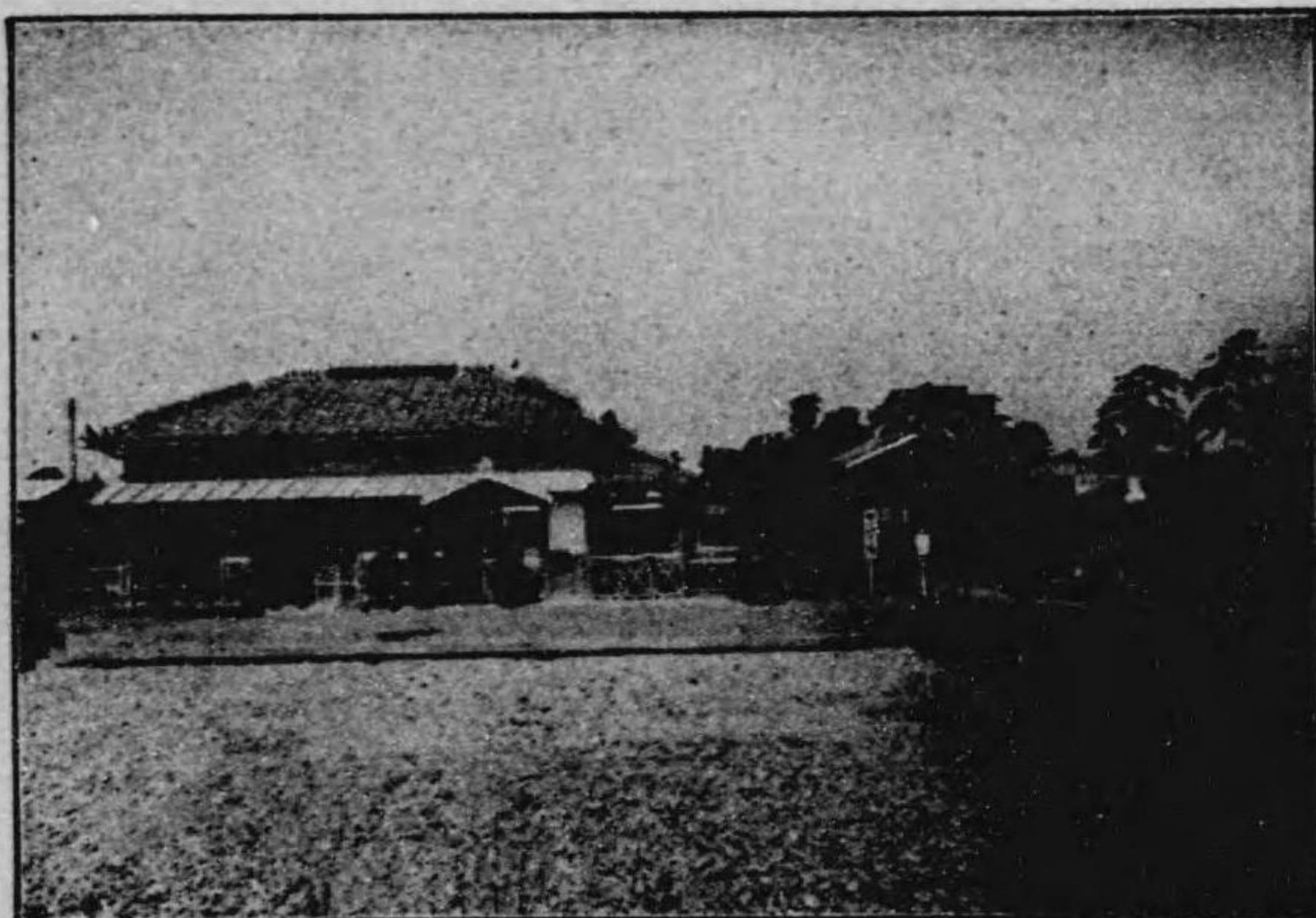
引馬野 知立町の東端に在り、馬市の
 起原詳ならずと雖其由來頗古く三才圖
 會に記さる、毎年六月三日遠近より馬
 を牽き來り商賣顧客群集して市を成す

明治大帝駐蹕趾 八ッ橋の附近來迎寺に
 在り、明治二十三年海陸聯合大演習を
 舉行せらるゝや明治天皇親しく之を統
 監し給ひ、驛を來迎寺學校に駐めて三
 軍を閱し給へり、村民此無上の光榮に
 感激し碑を建てて以て遺烈を千載に傳ふ
 碑面に刻する「錦旗千載駐餘光」の七大
 文字は則ち故有栖川煇仁親王の染筆に
 係れり

刈谷町驛



趾幸行帝先



刈谷町

刈谷新驛より西南一哩弱に位す、刈谷町の在る所にあり。

刈谷町 天文二年徳川家康の外祖水野忠政此地に城を築きしより稻垣、阿部、本多、三浦、土井の諸氏相次て之に居す、現今戸數一千五百、人口約八千五百に過ぎずと雖、近郷附近の雜貨供給地として豪商棟を列ね郡内屈指の小都會たり、殊に太田氏の經營に屬する製袋工場は其組織頗大にして一ヶ年の

松本奎堂碑



紙袋産額二億萬枚其價格拾五萬圓に上り販路海内に普及せり又大野氏主宰に係る煉瓦工場は舊藩士就産の目的に成り



明治十五年の創立にして實に愛知縣に於ける斯業の嚆矢なり

現今一ヶ年の産額五百萬個に達す。

(12)

此地の旅館及料理店の主なるものは米清、大喜館、勝友館、玉川屋、新花岡屋等にして就中大喜館の庭園は幽邃にして雅致あり、勝友館は快濶にして眺望に富む。

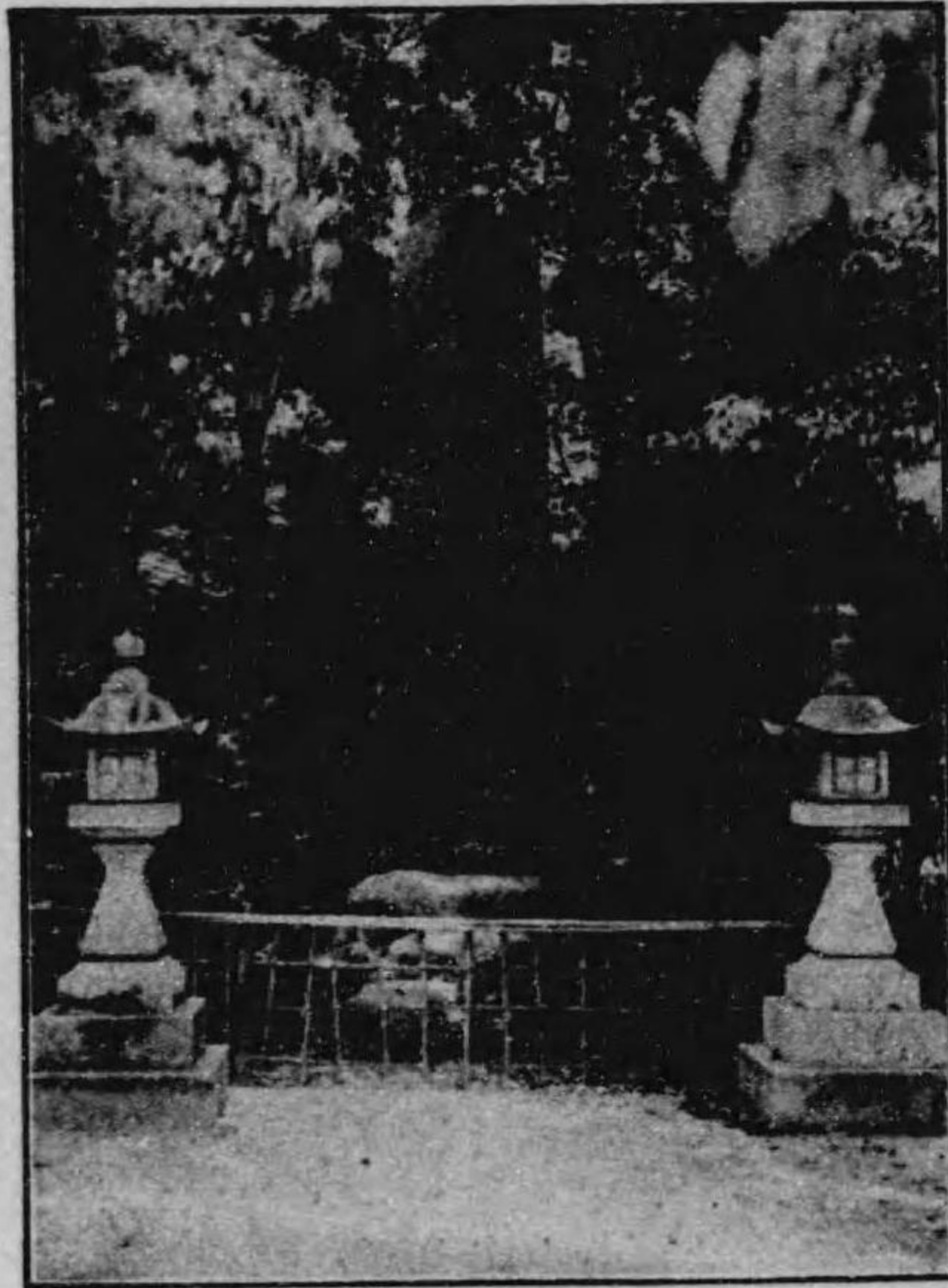
龜城趾 土井氏居城の遺趾、今や荒廢して雜草離々たり、此地一幹の老松存す、亭々として雲を凌ぎ秋風低迷する時松嶺彈琴の響あり、稱して琴彈松と名つく、若夫れ月明の夜樹下に徘徊せば恐らくは千秋萬古の恨を語らん。



松 彈 琴

(13)

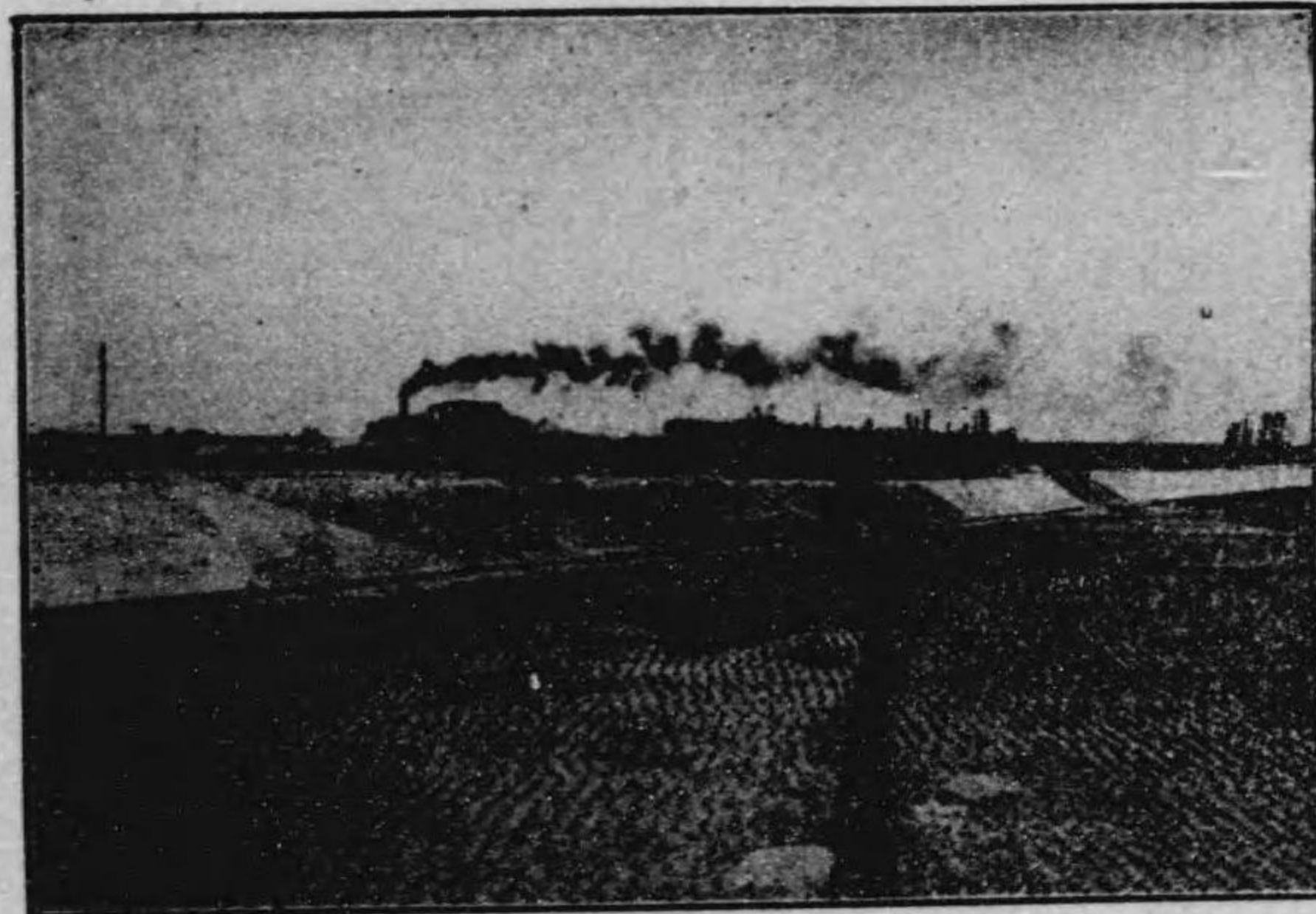
松本奎堂碑
穴戸彌四郎碑



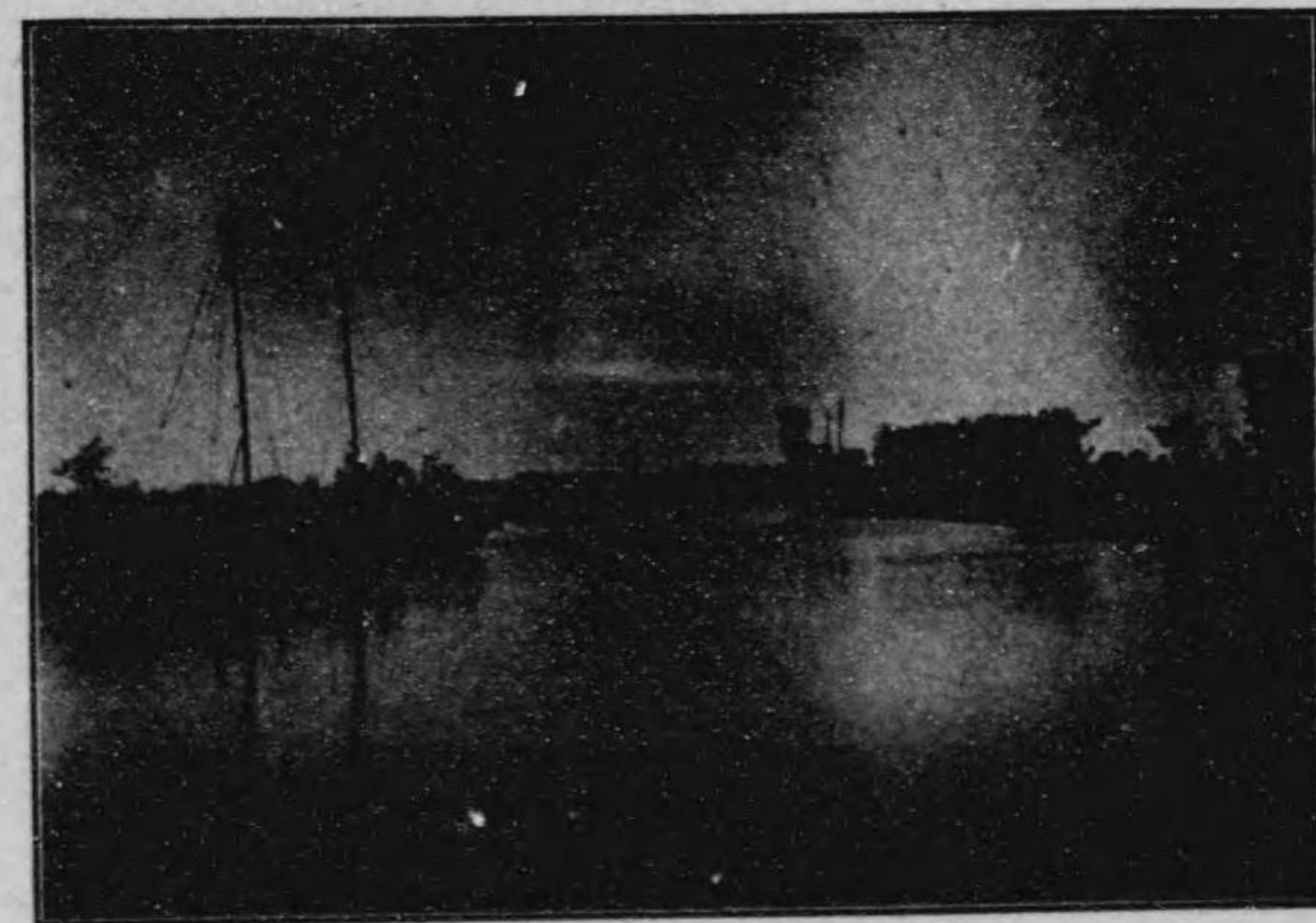
幕府の末造海内尊攘の議漸く盛ならんとするに當り、中山侍從等と共に卒先して兵を大

和十津川に擧げたりしも時未だ至らず、事志と違ひ遂に義に斃れたる勤王の志士松本奎堂穴戸彌四郎の二人は實に此地の産なり、後人其の遺蹟を不朽に傳へんか爲め各其邸趾に碑を建て以て英靈を慰む。

(14)



小垣江驛
刈谷町驛よ
り南方一哩
半に在り、
小垣江は依
佐美村の一
部落にして
彼の友綱卿
が「君る代
はよさみの



小垣江河口

杜のとしゑに松と杉とや千とせさか
ゑん」と詠じたるは此地なり、戸數千
六百、人口約九千、瓦の産出を以て名
あり、茶園を經營する者亦多く其産額
逐年増加しつゝあり。

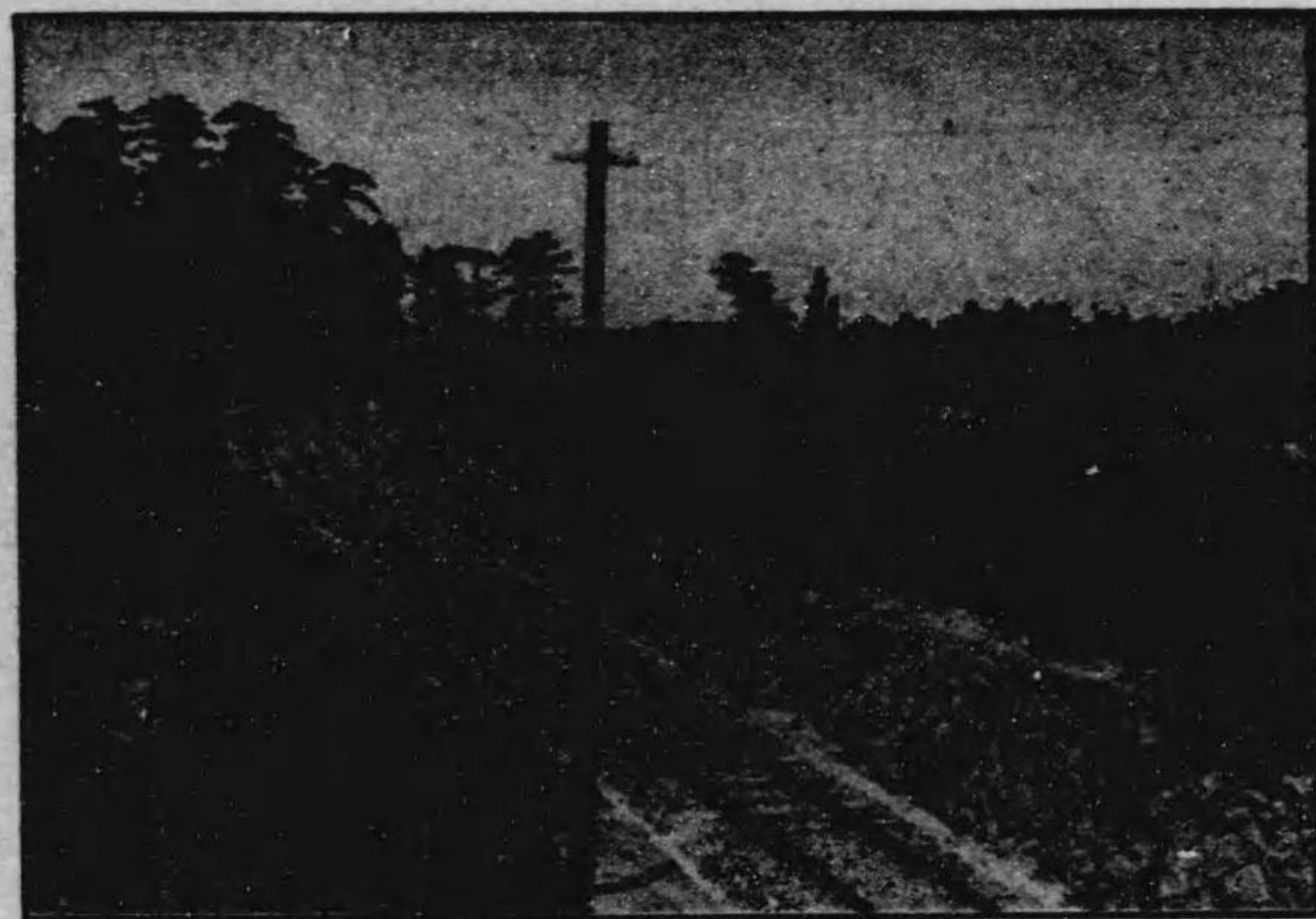
吉濱驛

(15)

小垣江より南方一哩強に在り、吉濱は
高濱町の一部落にして農家多しと雖、
近年瓦及土管の産出亦た漸く盛んなり
停車場に隣接して徳倉前代議士の經營
に係る養魚池あり、周圍一里餘、其規



吉濱養魚池



吉濱神社附近

模壯大にして鰻鯉鮪等を産し日々名古屋及京阪地方に輸出す、附近一帯風光快潤にして池邊に釣鐘を垂るれば以て一日の清遊に適すべし。

素朴なる村民の餘技として紹介の價値あるものは造物細工に關し特殊の技倆を有すること之なり、本村民の菊細工造人形等の手工に巧みなるは殆んど天稟と云ふべく毎年名古屋及東京に迄出張して都人士を驚歎せしめ陰かに以て誇りと爲せり。

高濱港驛

吉濱驛の南方二哩に在り。

高濱町

愛知縣内屈指の工業地にして戸數千八百、人口壹萬餘、尙年々著しく増加しつゝあり、此地元と常滑職工の移轉し來りし者に依りて開かる、陶器は土管、煉瓦、焜爐、瓦等の粗製品なれども其産額の大なるは驚くべし、就中土管は明治十八年神谷伊藤の二氏斯業を開始して以來、逐年盛大に赴き其販路國內は勿論遠く清韓地方に及び



高濱全景



高濱築港

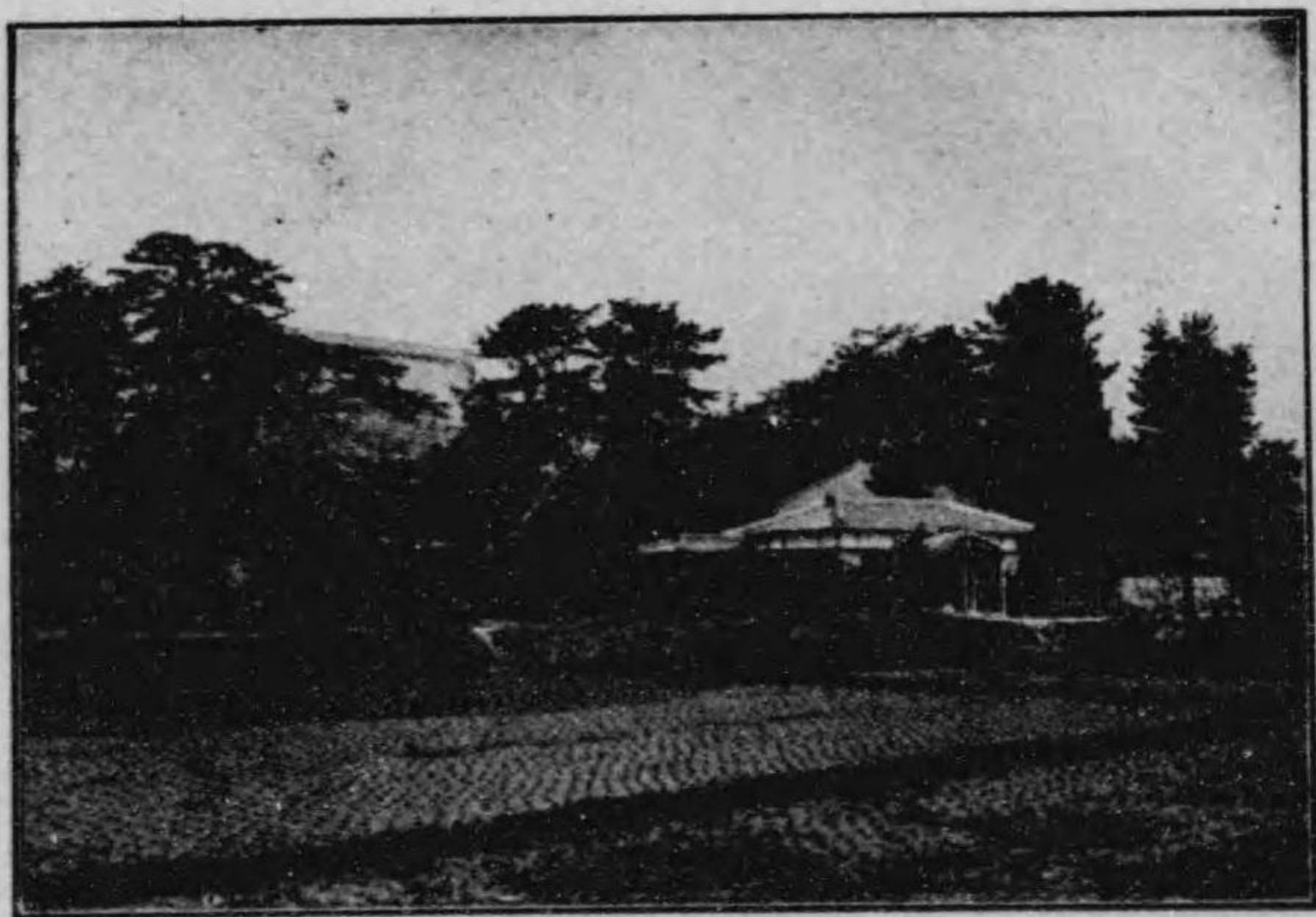
今や三河土管の稱呼は殆んど本家常滑を凌駕せんとするの勢あり、港内水深く波穩にして船舶の來往梭を行るが如く、埠頭常に製品堆積して山を爲す、工場の烟筒林立して煤烟濛々白日尙ほ暗し、以て其盛觀を知るべし。

專修坊 停車場より東方十町高取に在り、蓮如上人留錫巡化の蹟なり、多く遺物を藏す、毎年四月蓮如忌には附近の參詣者夥し。

北新川停留場

高濱港驛の南一哩に在り、新川町の北端に位す、此附近南瓜及大根を産す、栽培反別百町歩に上り其販路阪神は勿論遠く北海道及滿州に及ぶ、松江南瓜、三河大根の名噴々たり。

西端應仁寺 本停留場より東方二十町に在り、應仁年間の建立にして蓮如上人隱栖の地なり、寶庫には上人の遺物多し、毎年陰曆三月六月の二期には一般衆庶の觀覽を許す遠近の參詣者頗多し。



專修坊



桃 林

桃林 西端及東端の附近は古來桃樹の栽培多く盛時數百町歩に達せしが、明治用水開通後漸く減少し近來亦た柑橘に代ゆるものある爲め稍舊時の觀を失ひしと雖、多くは老樹にして春陽三月開花の季に際せば靉靄たる紅雲裡節を曳て來り賞する雅客尠からず。

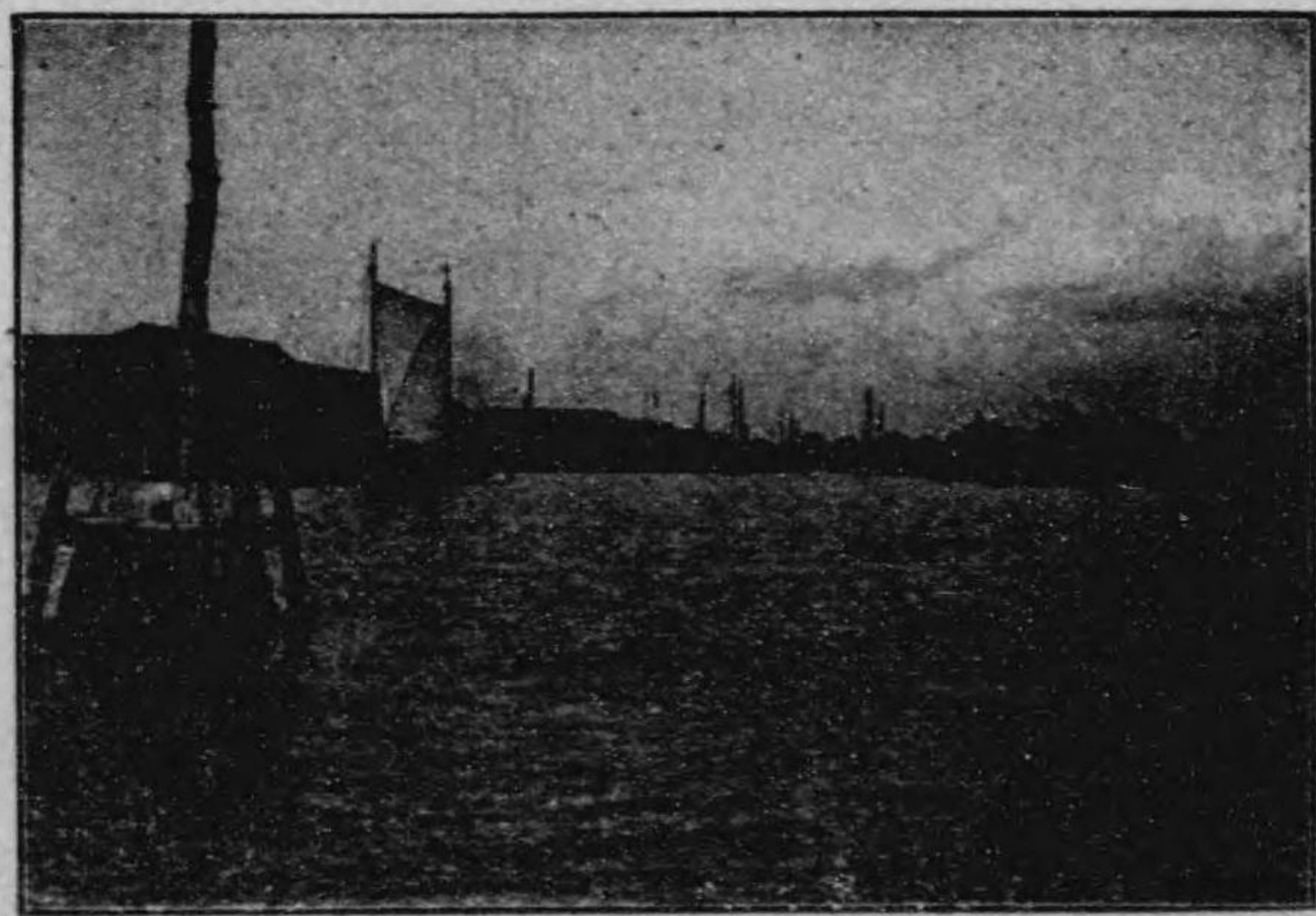
新川町驛

北新川停留場より南一哩弱に在り、爰より海陸連絡の爲め海岸に到る支線の敷設中なり、成工の上は本鐵道貨物の

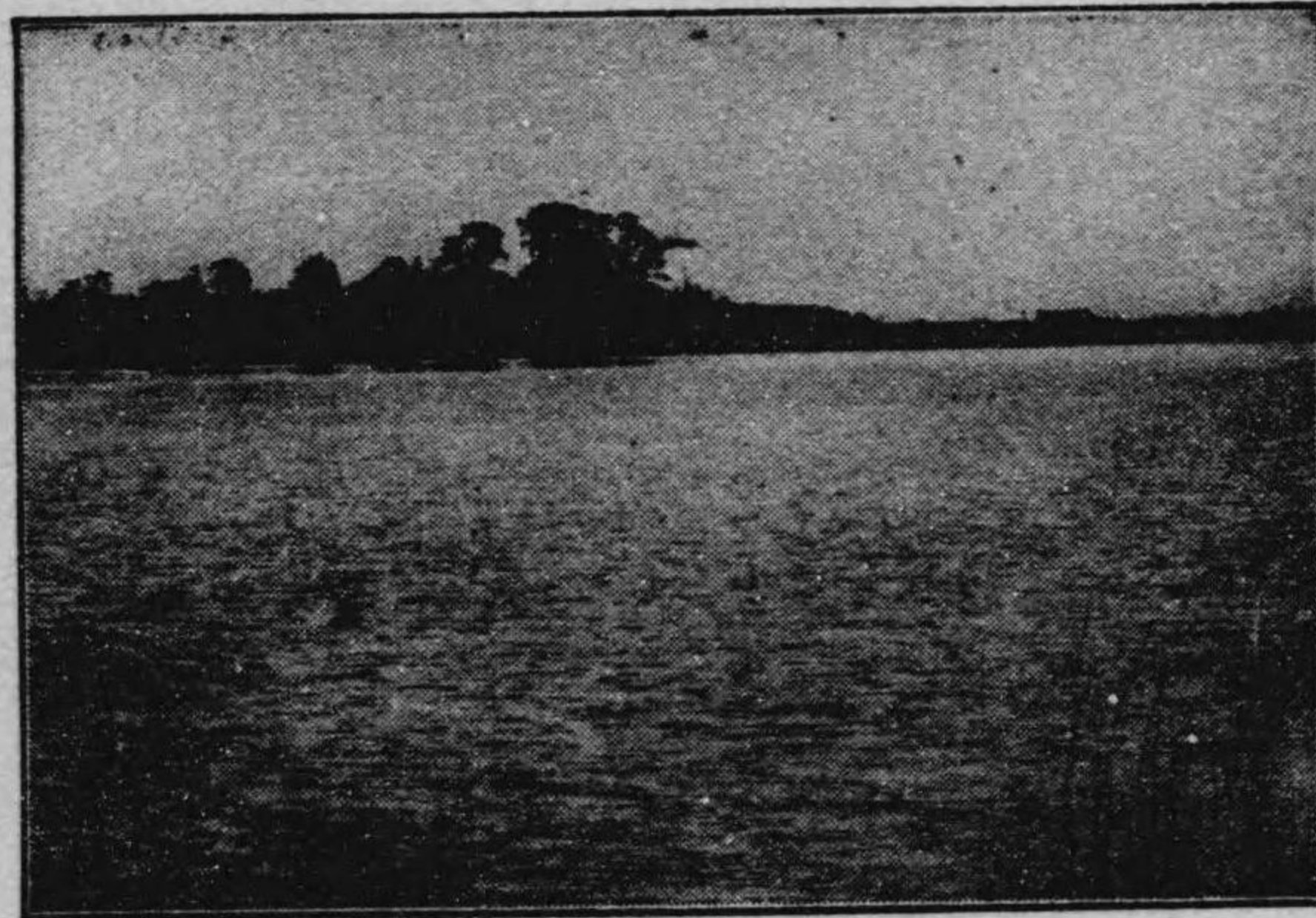
輸送上新面目を開くに至らん。

新川町

本町は衣ヶ浦の水漸く潤く油ヶ淵の放流海に注ぐ處に位する天然の一良港なり、年内船舶の來往織るが如く帆檣林立百貨輻湊して街衢殷賑を極む、戸數千五百、人口八千、此地三河陶器の産地として其起原最も古く享保時代己に萌芽を示せり、今や煉瓦土管、瓦、焜爐等の工場は新川上流の兩岸に楡比し煤烟高く天に漲り頗壯觀を呈す、而して其製品は直ちに海に出で、遠く東西の市場に舶送せられ、從



新川港口



油ヶ淵

來對岸の武豊線に依り鐵道輸送の便を
籍りしものは僅に其五分の一に過ぎず
と云ふ、此地海岸の旗亭鶴洲樓には夏
時海水浴の設けあり。

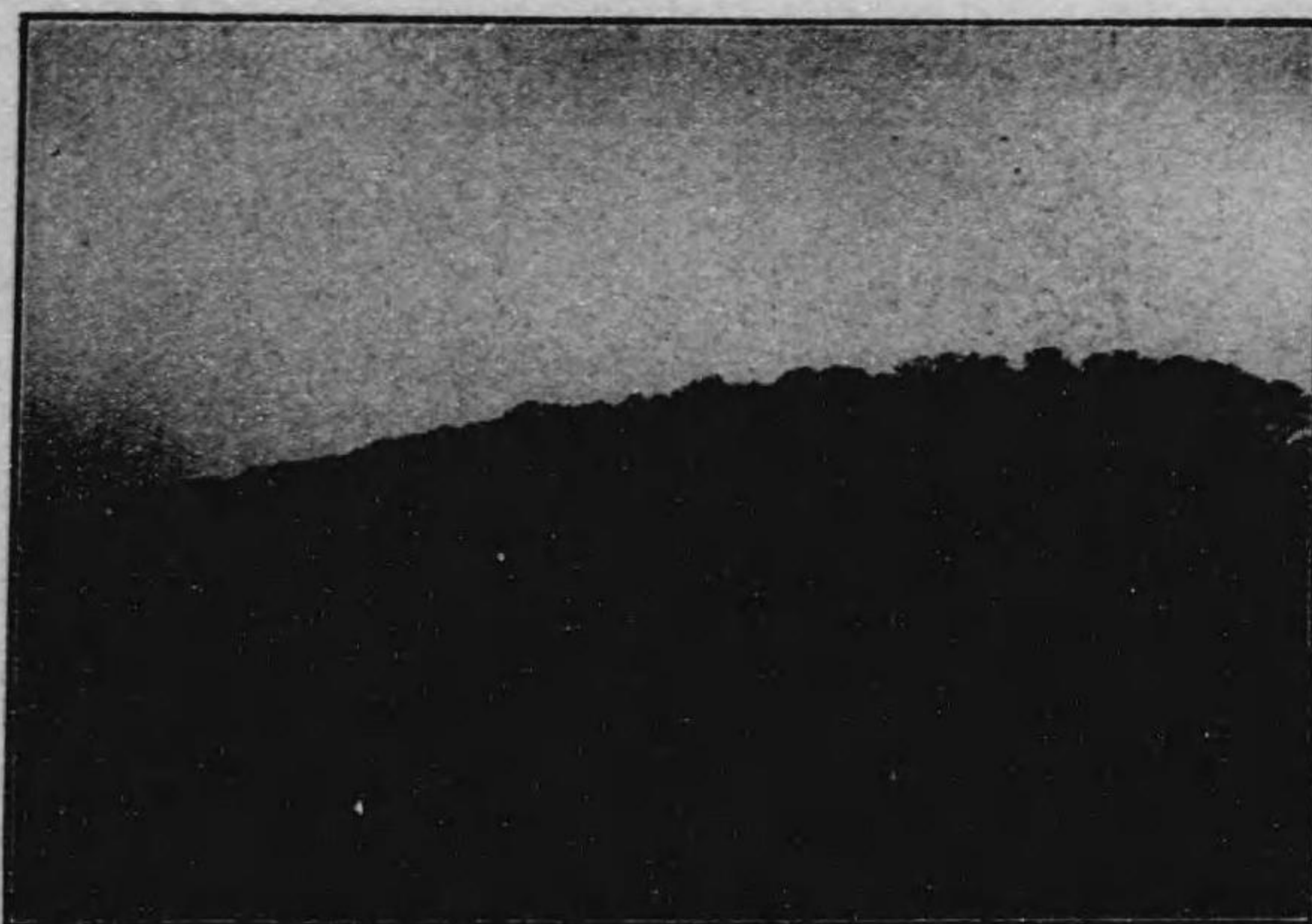
油ヶ淵 新川町の東北端に位する三椏
形の一大湖水にして周圍三里餘、昔時
は海に通せしが漸く變じて池沼と爲る
元祿年間瀦水を衣ヶ浦に放流する爲め
水路を開鑿し樋門を設けたり、新川の
名蓋し之より起る、若夫れ輕舟を憫ふ
て湖心に出づれば激澗徐ろに動き碧鏡
雲を浸し四顧の風物宛どして一幅の畫

圖に似たり、地稍僻在すと雖、銷夏の
夜泊、秋光の釣舟共に旅情を慰するに
足らん乎。

天王之森 新川大濱兩町に介在す、新
川町停車場より約四町、衣ヶ浦の海濱
に、一帯の松林翠綠、滴らんとし、白
砂の汀、遠く銀線を曳く如し、前
は、多島、彩畫の如く、朝熊（伊勢）の
應へんとし、更遙に朝熊（伊勢）の連
峯を雲烟摸糊の間望む、砂清く波靜
かにし、夏海水浴の好適地たり。



新川河口沙干狩



(場浴水海) 森王天

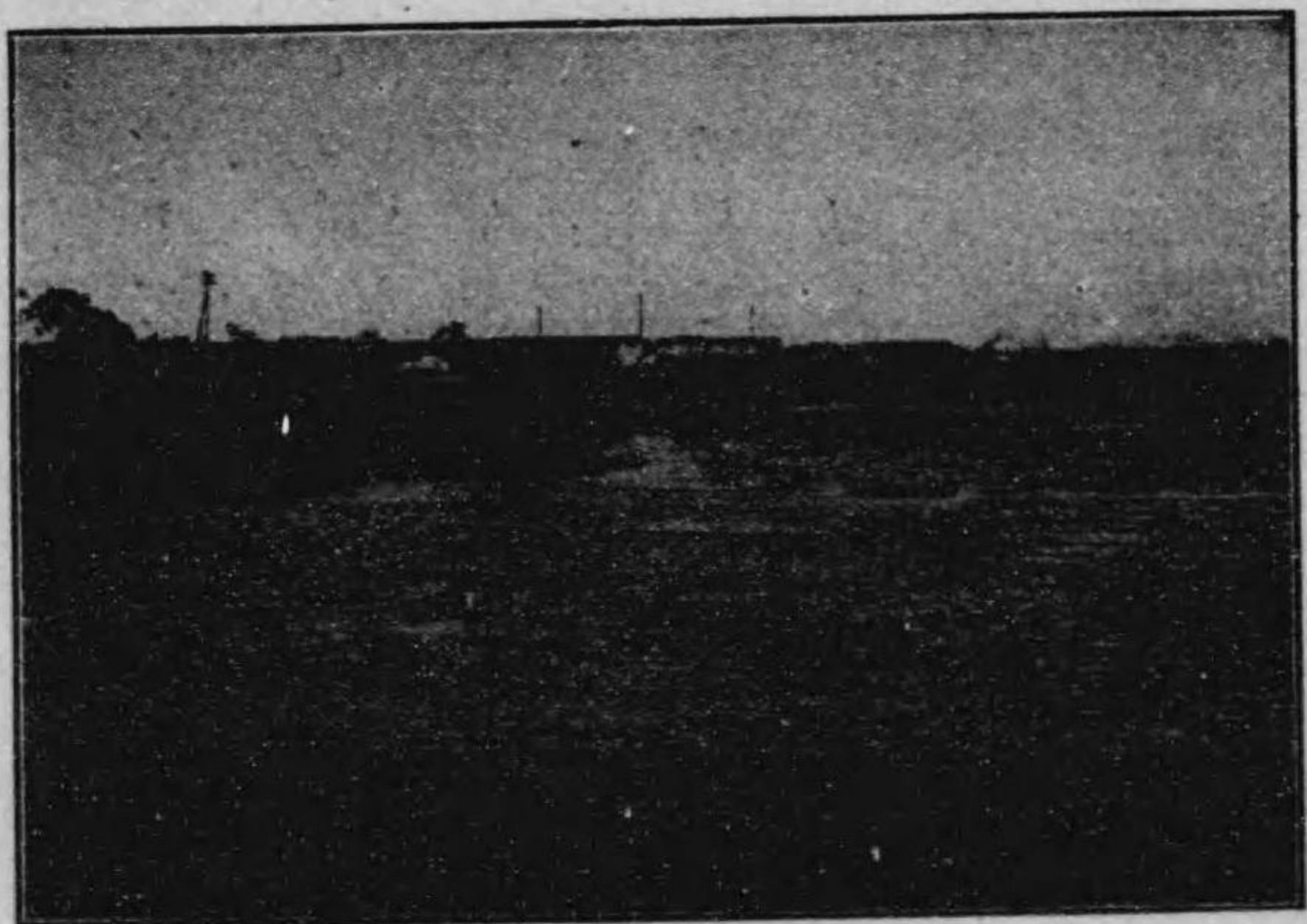
大濱港驛

新川町驛の南二哩餘、本鐵道現在營業線路の終点なり、是より平坂西尾の方面には連絡馬車の運行するあり、海岸よりは連絡汽船ありて知多半島及伊勢地方との交通至便なり。

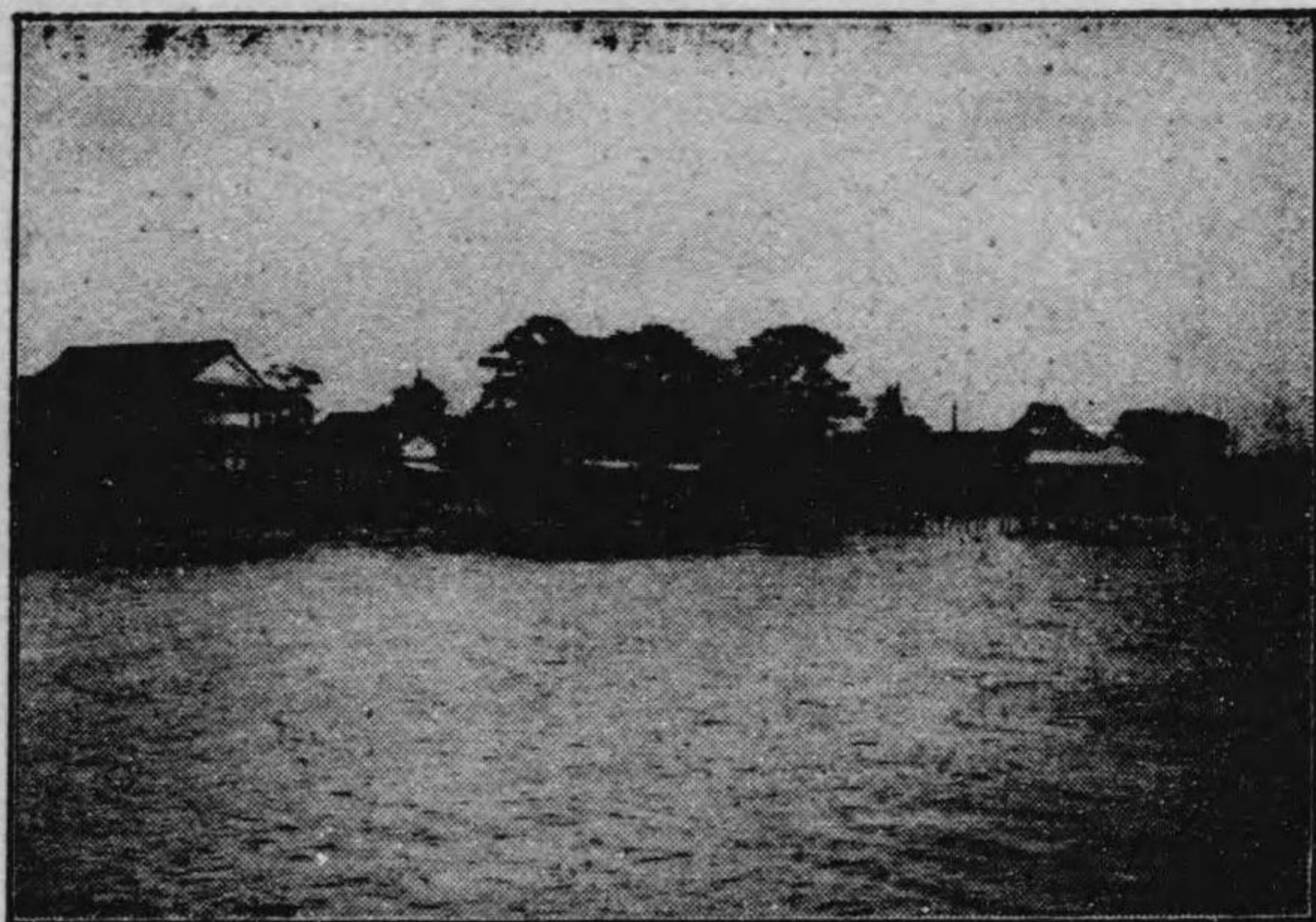
大濱町

衣ヶ浦の南端に位し地形新川と酷似する良港なり、往昔は濱奉行の設けありて幕府の代官來り住む、當時船舶の往來此附近の第一位を占めたりと云ふ、戸數千貳百、人口六千五百

此地工業の最盛んなるものを木綿及味噌の二者なりとす、木綿は巨大なる工場十を以て數ふべく、動力機械を使用し年々産出する處二百萬反を下らず、價格數拾萬圓に上れり、味噌は關東の流山と並稱せらる、縣下有名の特産にして一ヶ年の産額五千石に達し、其販路は甞に内地に止らず遠く清韓、布哇及米國加奈陀に至る、就中石川氏の醸造する九重櫻は起原最古く安永年間の創立にして産額亦最多しと云ふ、其他角谷氏の辛子漬の如き其風味の佳良な



(点終) 驛港濱大



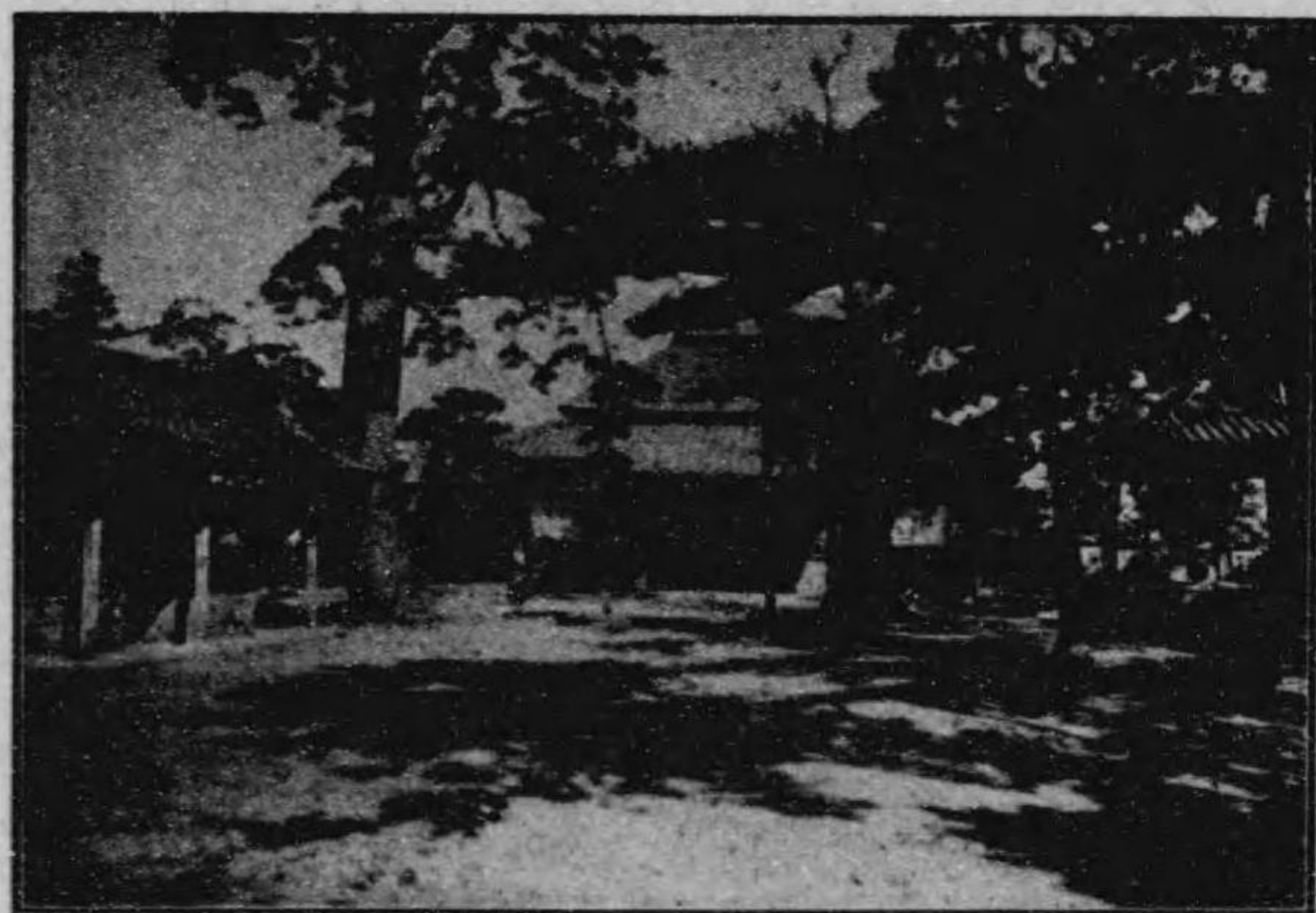
大海濱水浴場

る是亦本町の特産として誇るに足るべし、農産物としては甘藷及落花生の栽培頗多く産額拾数万圓に達す、水産物には蟹、鰯、白魚等あり是亦年産数万圓日夕速達便に由り東京市場に上る。此地旅館及料理店の主なるものは濱田屋及海月等にして濱田屋は調味の美なるを以て名あり、海月は海濱に面して風光宜しく海水浴の設備あり。

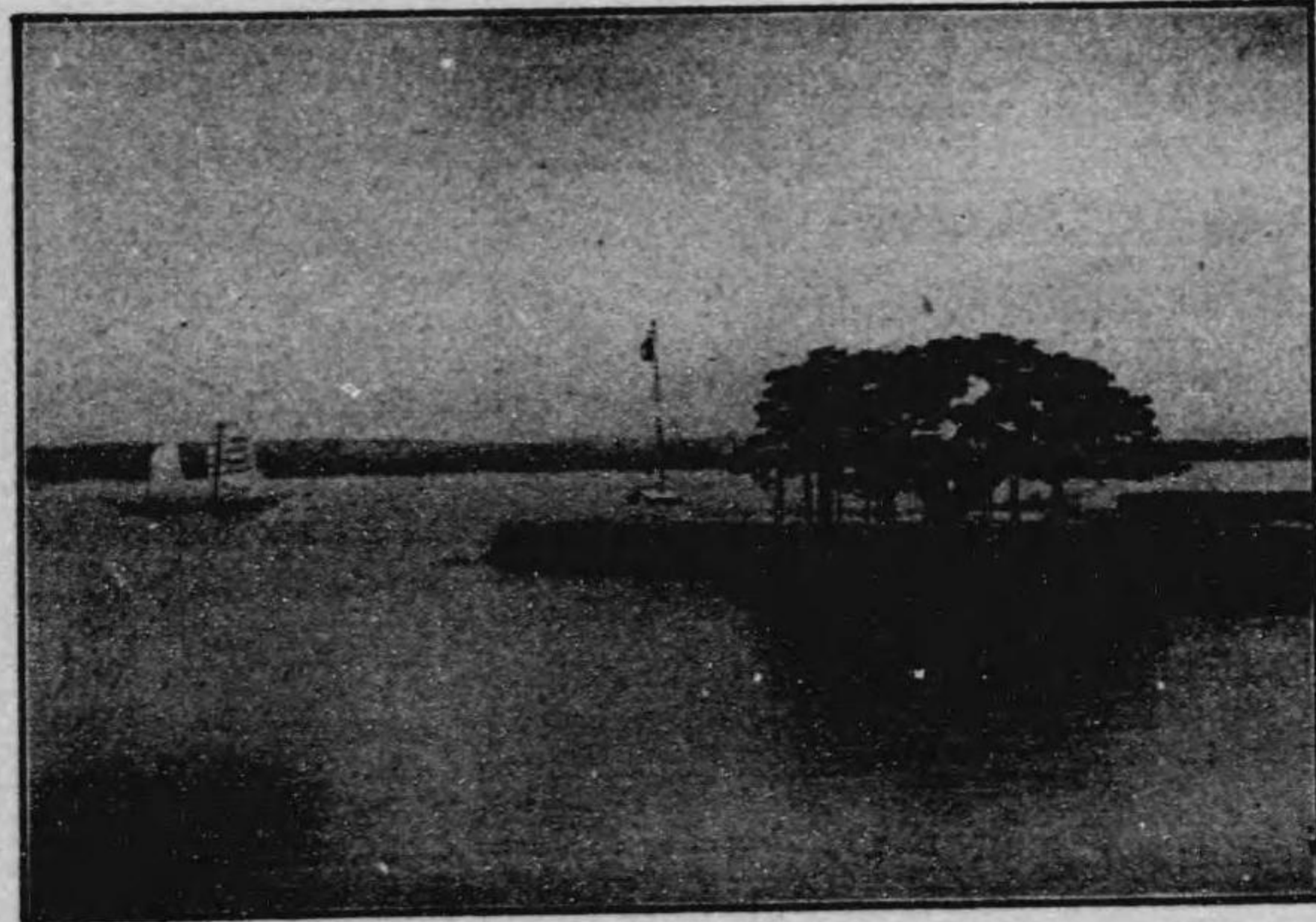
稱名寺 聲阿上人の開基にして嘉吉元年徳川家康の祖、有親及長男親氏來つて之に住す、後親氏は松平村に移り、

有親は享徳元年本寺に寂す、家康の遺品其他什寶多く、境内幽靜にして俗塵を絶つ。

傘松 停車場より南二十餘丁田園の間を進み蜆川の海に注ぐ處自ら洲崎を成す、之を權現崎と云ふ、爰に一老松あり、幹の高さ三丈六尺、巨枝四方に展開し、直徑六丈四尺に及ぶ、古來入港の舟人以て目標と爲す海上より之を望めば恰も雨傘を浮ふるが如し、因て此名ありと、亦名勝の一たるを失はず。



稱名寺 (徳川氏舊蹟)



松 傘

古人句あり、曰く

◎

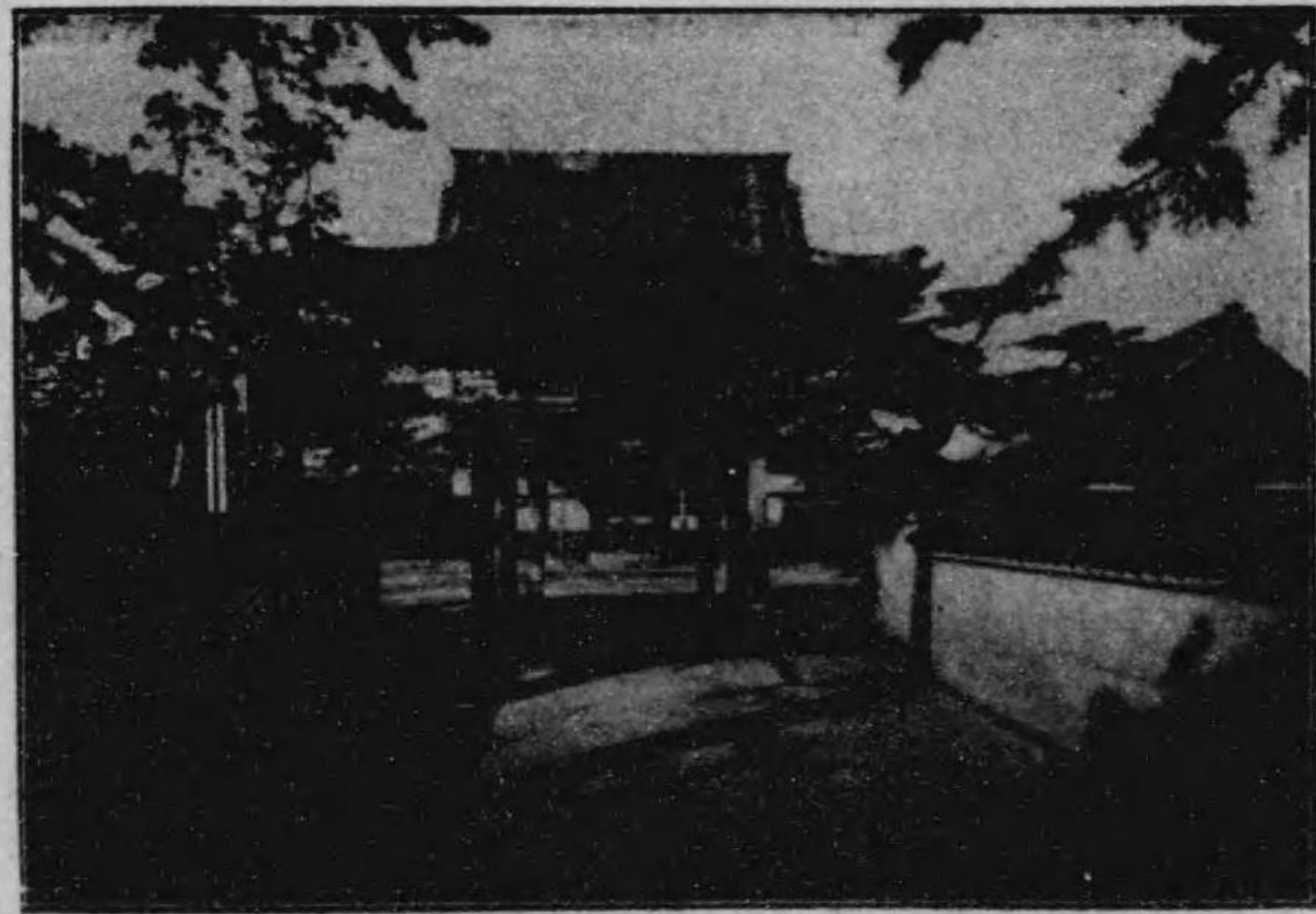
鳩 嶺

春雨になに大はまやいとふまし
からかさ松のもとに來ぬれば

此附近淺渚遠く海に入り、貝類の發生頗多きを以て、春秋の好晴に乗じ沙干狩を試むるも妙なるべく、夏季は亦海水浴に適し、且釣魚に宜し、殊に鰻突きと稱して晩春の暮夜渚邊に松火して鰻を漁するあり、都人士の多く聞知せざる珍希の漁法なり。

棚尾村

大濱港停車場の東部に位する繁華の小部落にして戸數九百餘、人口約五千、平岩鉄工場、長崎醬油醸造場等數個の大工場あり、商業亦盛んなり、此地妙福寺に祀れる毘沙門天は仁壽元年志貴左衛門尉此地方の庄司と爲りて赴任の際奉じ來りしもの、後一寺を創して之を安置す、大和志貴山の分体にして聖徳太子の作に係り靈驗殊に顯著なり、吉凶の神籤百中すと稱して四方より賽者常に絶へず、



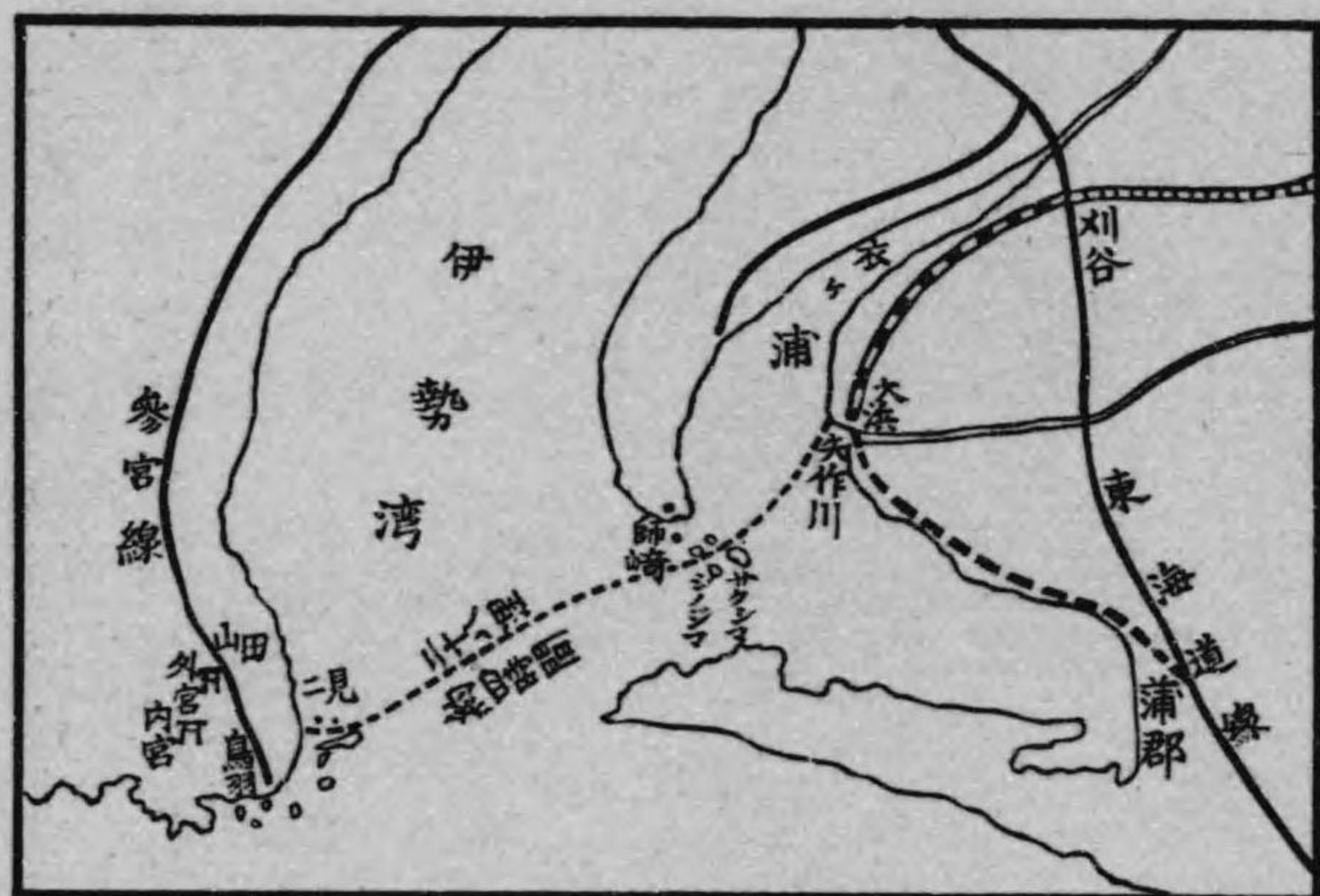
(天門沙毘)尾棚

平坂港

大濱港驛より棚尾を経て矢矧川を渡り行くこと十餘町にして一色に通ず、三河鐵道の第二期線たる蒲郡線は實に此地を基程として海岸を走るものとす、戸口大濱町より稍少なきも煉瓦、土管、豆粕等工業の規模は頗る見るに足るものあり、近時西尾鐵道線亦此地に來り海陸連絡の設備を爲す、斯くて縦横交通機關の完成と共に該町將來の發達亦大なるものあらん。

島巡り

大濱町より汽船に搭して南下衣ヶ浦を出づれば灣頭に師崎港あり、昔時東航の船舶風波を避けて爰に假泊する者多く濱奉行の駐在せし所と云ふ、現今海水浴場あり夏季來り遊ぶ者尠からず。更に港頭に立て望めば佐久島、篠島、日間賀島の諸島嶼星羅棋布して宛然小松島の風光あり、其佐久島の辨才天は由緒頗古く、篠島には後

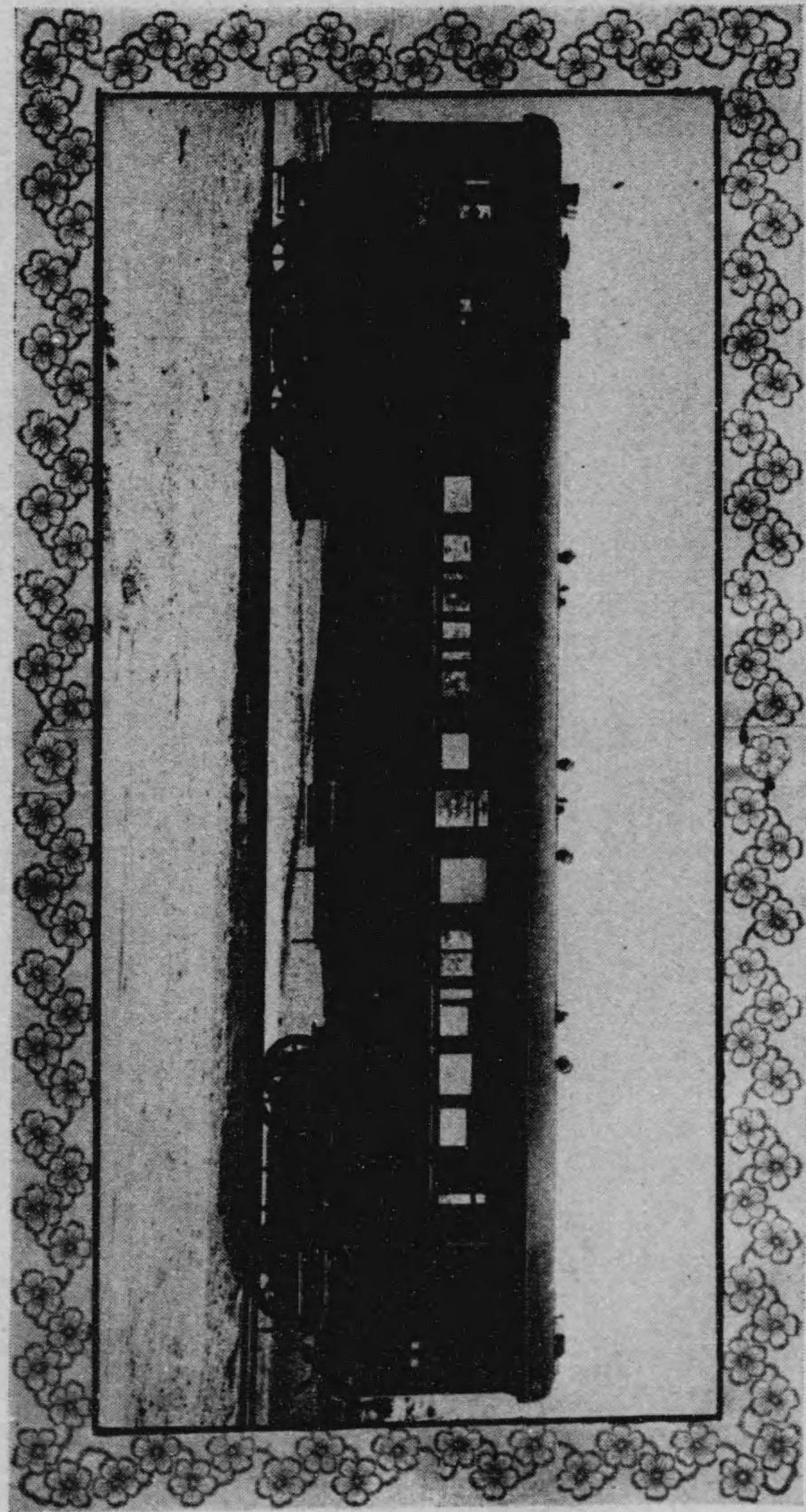


伊勢宮近道

村上天皇東征の遺蹟あり、遠來の佳客島巡りと稱して此等の名勝舊蹟を探くる者夏時殊に多し。

伊勢宮

大濱港より師崎を経て伊勢灣を横ぎり一路直ちに二見港に向ふ海上廿八哩、汽船僅に四時間にして達す二見より電車にて内外両宮の參拜を終り歸途更に鳥羽の形勝を賞するも旅程二日にして足る、其費用の低廉にして時間的經濟なる三河方面より參宮に志すもの、最捷徑路なりとす。



車 働 汽

(32) 以上列挙する所は僅に九手の一毛たるに過ぎず尙ほ仔細に實狀を精査し他日機を得て更に之が玉成を計るべし



○ 旅客賃金表 (通行税共)

新川町	北新川	高濱港	吉濱	小垣江	刈谷町	刈谷新	驛名
六	七	一〇	一五	一八	二二	二五	大濱港
	三	六	一〇	一四	一八	二〇	新川町
		四	九	一二	一六	一九	北新川
			六	九	一三	一六	高濱港
				五	九	一一	吉濱
					五	八	小垣江
						四	刈谷町

○ 營業哩程表

新川町	北新川	高濱港	吉濱	小垣江	刈谷町	刈谷新	驛名
一、六	二、三	三、四	五、二	六、五	八、〇	九、〇	大濱港
	、七	一、八	三、六	四、九	六、四	七、四	新川町
		一、一	二、九	四、二	五、七	六、七	北新川
			一、八	三、一	四、六	五、六	高濱港
				一、三	二、八	三、八	吉濱
					一、五	二、五	小垣江
						一、〇	刈谷町

○院社線連絡驛

一、旅客及手荷物

東海道線 濱松 大垣間各驛
 新橋 品川 平沼 横濱 國府津 沼津 静岡 京都 大坂 神戸
 關西線 彌富 桑名 四日市 奈良 津 松坂 山田 鳥羽
 中央線 木曾福島 名古屋間各驛
 信越線 長野 新潟
 北陸線 敦賀 福井 金澤 富山

一、一般大貨物及小荷物

院線各驛 (北海道 九州 總武 讃岐 徳島線ヲ除ク)

一、豊川鐵道各驛 (院線豊橋刈谷を經由し旅客手小荷物及大貨物)

○特別割引

一、院線名古屋熱田安城岡崎と社線各驛間に院線内普通賃金社線内一割引通用期間三日間の乗車券を發賣す今往復賃金を擧ぐれば左表の如し

至	自	岡崎	安城	熱田	名古屋
刈谷町	四〇	二四	四六	五六	
小垣江	四七	三一	五三	六三	
吉濱	五三	三七	五九	六九	
高濱港	六二	四六	六八	七八	
北新川	六七	五一	七三	八三	
新川町	六九	五三	七五	八五	
大濱港	七八	六二	八四	九四	

○ 團體割引賃金

學 生 團 體				普 通 團 體				
哩程 人員	二十哩迄	十哩迄	五哩迄	二十哩迄	十五哩迄	十哩迄	五哩迄	哩程 人員
二十五人以上	三割	二割	一割五分	二割	一割五分	一割	五分	二十五人以上
五十人以上	三割二分五厘	二割二分五厘	一割七分五厘	二割五分	二割	一割五分	一分	五十人以上
百人以上	三割五分	二割五分	二割	三割	二割五分	二割	一割五分	百人以上
百五十人以上	三割七分五厘	二割七分五厘	二割二分五厘	三割五分	三割	二割五分	二割	二百人以上
二百人以上	四割	三割	二割五分	四割	三割五分	三割	二割五分	三百人以上
三百人以上	四割五分	三割五分	三割					

○ 回数乗車券

回数乗車券は社線内各瞬間御乗車用として至極御便利且徳用向に有之通普賃金の二割強の割引に相當致し通用期限無期限に候

五十區分 一冊 金壹円
 百五區分 一冊 金貳円

今區間表を擧ぐれば左の如くに有之候例へば高濱港より刈谷町までは高濱港吉濱間二區吉濱小垣江間一區小垣江刈谷町間二區の五區即五枚にて御乗車相出來申し候



○定期乗車券

普通及學生定期乗車券は一ヶ月三ヶ月六ヶ月十二ヶ月に分ち前者にありては四割乃至六割を低減し後者にありては五割乃至七割五分を低減して發賣致候

○手小荷物

一、旅客其旅行に必要な物品を託送せらる時は手荷物として三十斤迄は無賃を以て取扱致候無賃制限外の手荷物は左表に據り御取扱致候手小荷物一ヶに付金五錢を以て停車場より一里半以内に限り配達可致候

全線	一斤	二斤	三斤	四斤	五斤	六斤	七斤	八斤	九斤	十斤	十三斤迄	十六斤迄	十九斤迄	廿二斤迄	廿五斤迄	以上凡斤若クハツノ 乗額ヲ増ス毎ニ本額 金額ヲ加フ
各 間	七錢	七錢	七錢	七錢	八錢	九錢	十錢	十錢	十錢	十一錢	十五錢	十七錢	十九錢	廿一錢	廿三錢	四 錢

本表の運賃は一個毎に之を計算するものとす

412



旭日生命保險株式會社

名古屋市中國矢場町五ノ切五十五番地

刈谷町

同 名古屋支部

同 刈谷代理店

神谷周助

取締役社長 渡邊治右衛門
專務取締役 渡邊三郎
事務取締役 福澤平太郎

刈谷日本橋區本村木町一丁目八番地

取締役 吉田丹次郎

取締役 久米良作

取締役 渡邊六藏



吳服太物

祝儀小袖

蚊帳布團

刈谷町

吉本屋吳服店

電話二三番
電略カミヤ

確實

大勉強

(2)

齒科專門治療

齒科醫

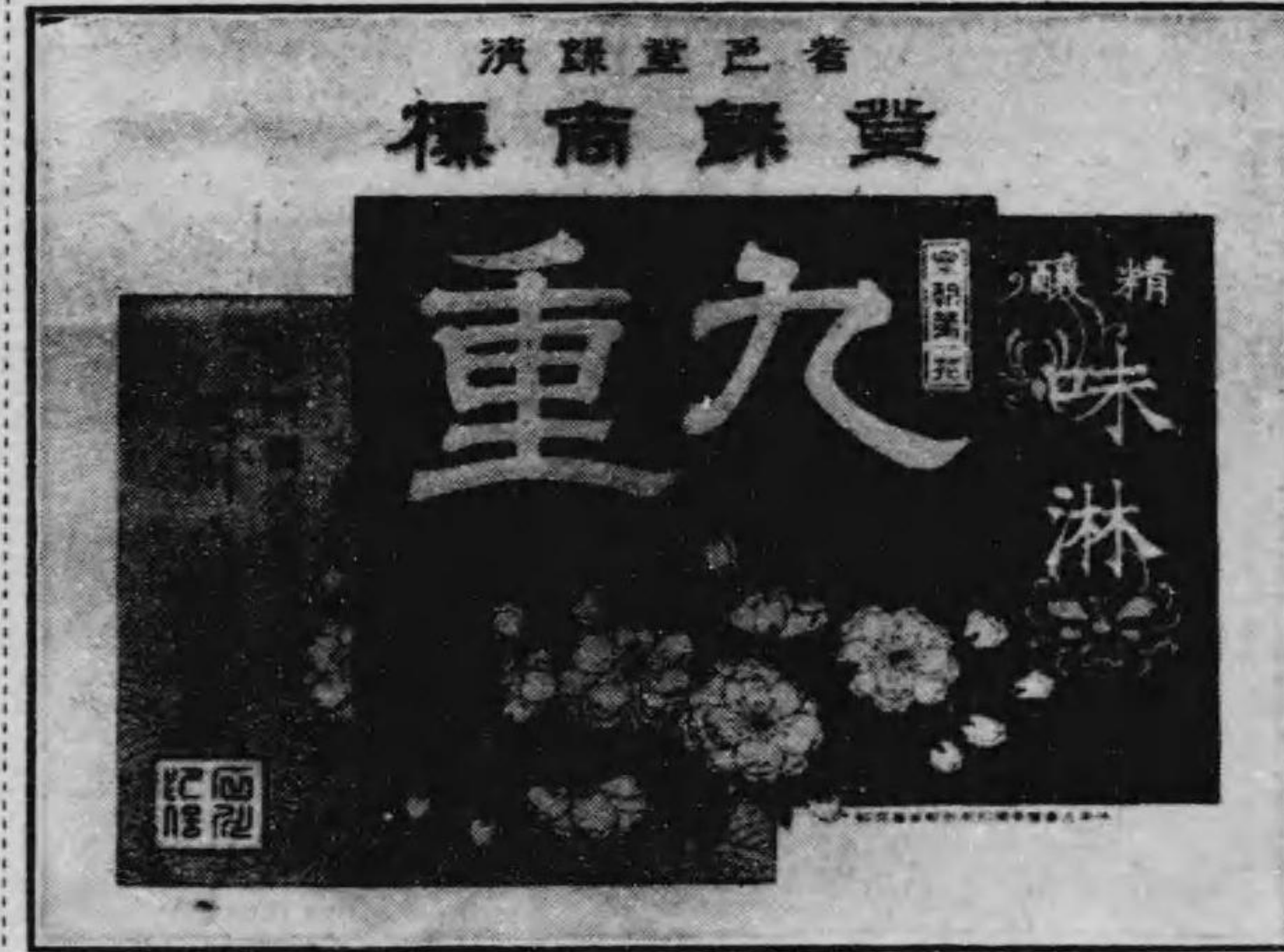
加藤正孝

電話三四番

町谷刈國河三

(3)

斗泰ノ界淋味的界世



事業畏クモ

天聽ニ達シ光榮、名譽枚舉ニ違アラズ
販路海外ニ及ビ名聲世界ニ高シ

大濱町(大濱港驛ヨリ西三丁)

醸造元

石川八郎治

電價略號(イシハ)又ハ(イ)電話大濱八番
振替口座東京四三二九番

大濱港驛構内ニテ壘詰ヲ販賣ス

(5)

登 錄 商 標
 味 噌 釀
 美
 醬 油
 元 造

三 河 大 濱 港
 角 谷 兵 右 衛 門
 電 話 大 濱 二 四 番

米 穀 肥 料
 青 乾 物
 鐵 道 荷 物 取 扱

刈 谷 驛 前
全 天 野 運 送 店

店 主 江 坂 常 吉
 (原 電 話 二 四 番)

(4)



確 實

知 多 郡 東 浦 村
 大 字 緒 川

緒 川 出 張 店

株 式 會 社

愛 知 農 商 銀 行 刈 谷 支 店

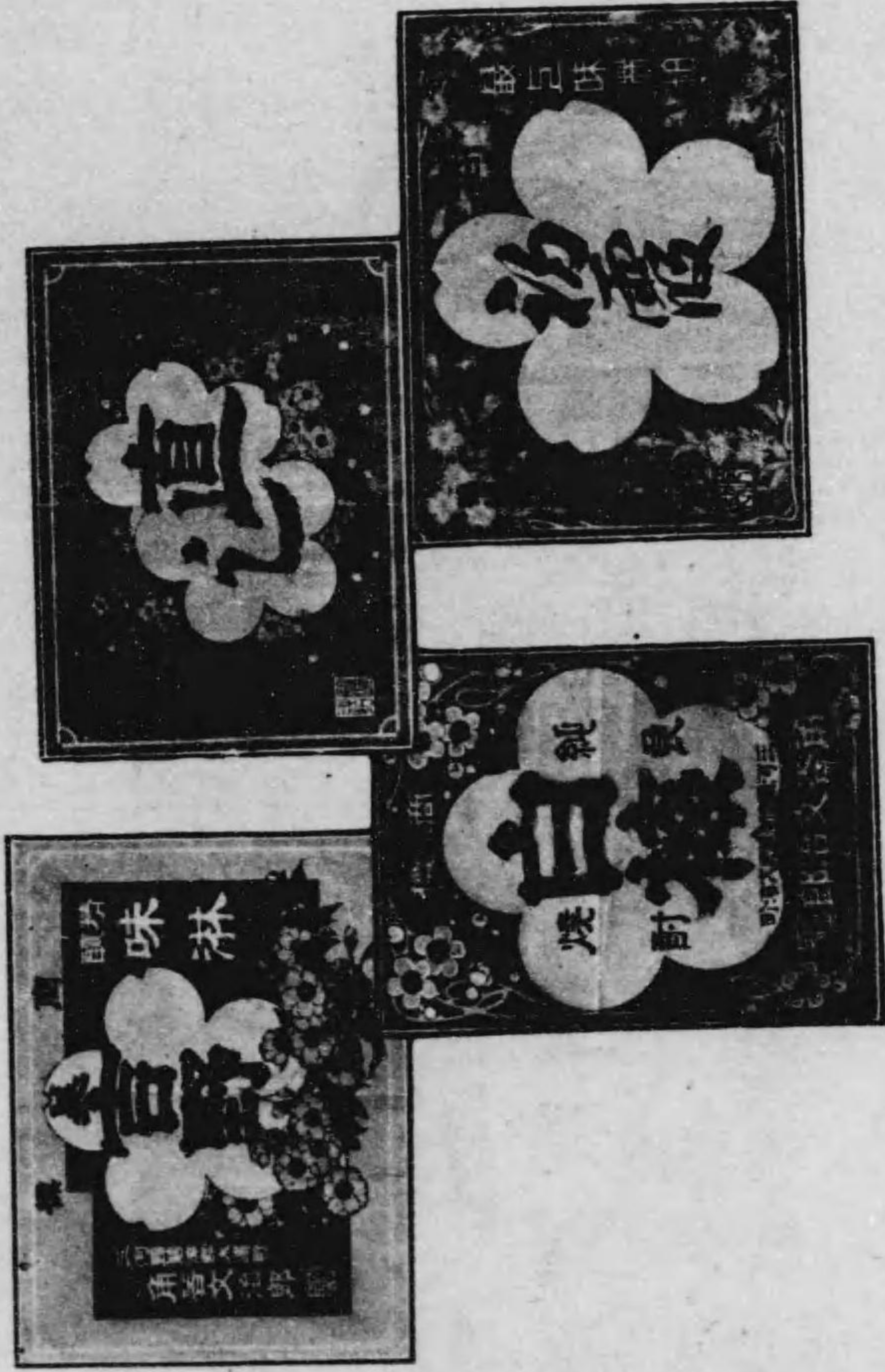
電 話 四 六 番

取 扱

碧 海 郡 高 濱 町
 大 字 高 濱

高 濱 出 張 店
 電 話 高 濱 二 〇 番

(6)



三河國碧海郡大濱町
 醸造元 角谷文治郎

(7)

オノヤ小町化粧品發賣本舗
 陸軍御用 内外油卸商
 軍用油 綿糸類
 小野治三品商店

三州刈谷正木町 電話オノジ又ハ(オ)

豊橋支店 (大手通り長門病院隣)

大日本横濱市元町百〇七番

小野治横濱化粧品發賣所

(8)

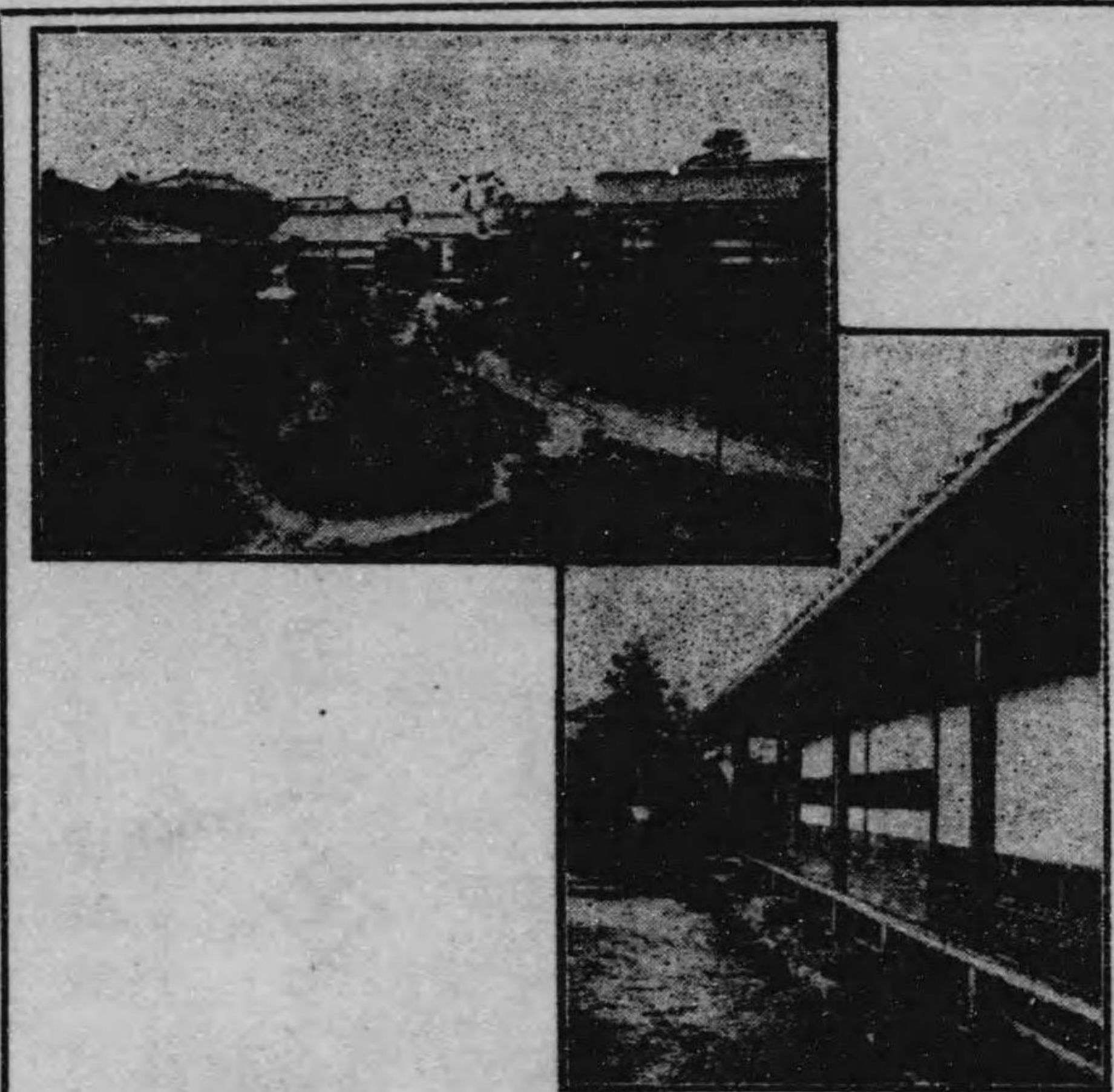
三河鐵道指定貨物取扱人



新川運輸株式會社

新川町 電話三八番

(9)



御手輕
御料理

勝友館

電話二〇番

刈谷町元中根

(10)

三井物産株式會社石炭特約販賣
 東京瓦斯コークス株式會社特約店
 各種石炭
 瓦斯コークス
 販賣



合資會社

尾參石炭商會

電話三番

三河鐵道指定貨物取扱人

內國通運株式會社取引店

運送倉庫業

今刈谷運送店

電話一七番

店主 加藤 悌一

前驛谷刈

(11)



釀造元
 三河國海郡旭村
 平岩七之助
 大濱電話一七番

三河鐵道指定旅館

刈谷本町

米

清

電話一六番

支店刈谷町驛前

寸

樂

割烹兼旅舎

濱田屋

大濱港驛より三丁餘

三河大濱
電話九番

(15)



取
扱

貨
物

⑤

大濱運送店

本店 大濱町入舟通
支店 大濱港驛前
電話 三三番

三河鐵道株式會社指定貨物取扱人

(14)



中山從天醫館

愛知縣海郡旭村字平七

電話 大瀨七番
振替東京第九貳貳番

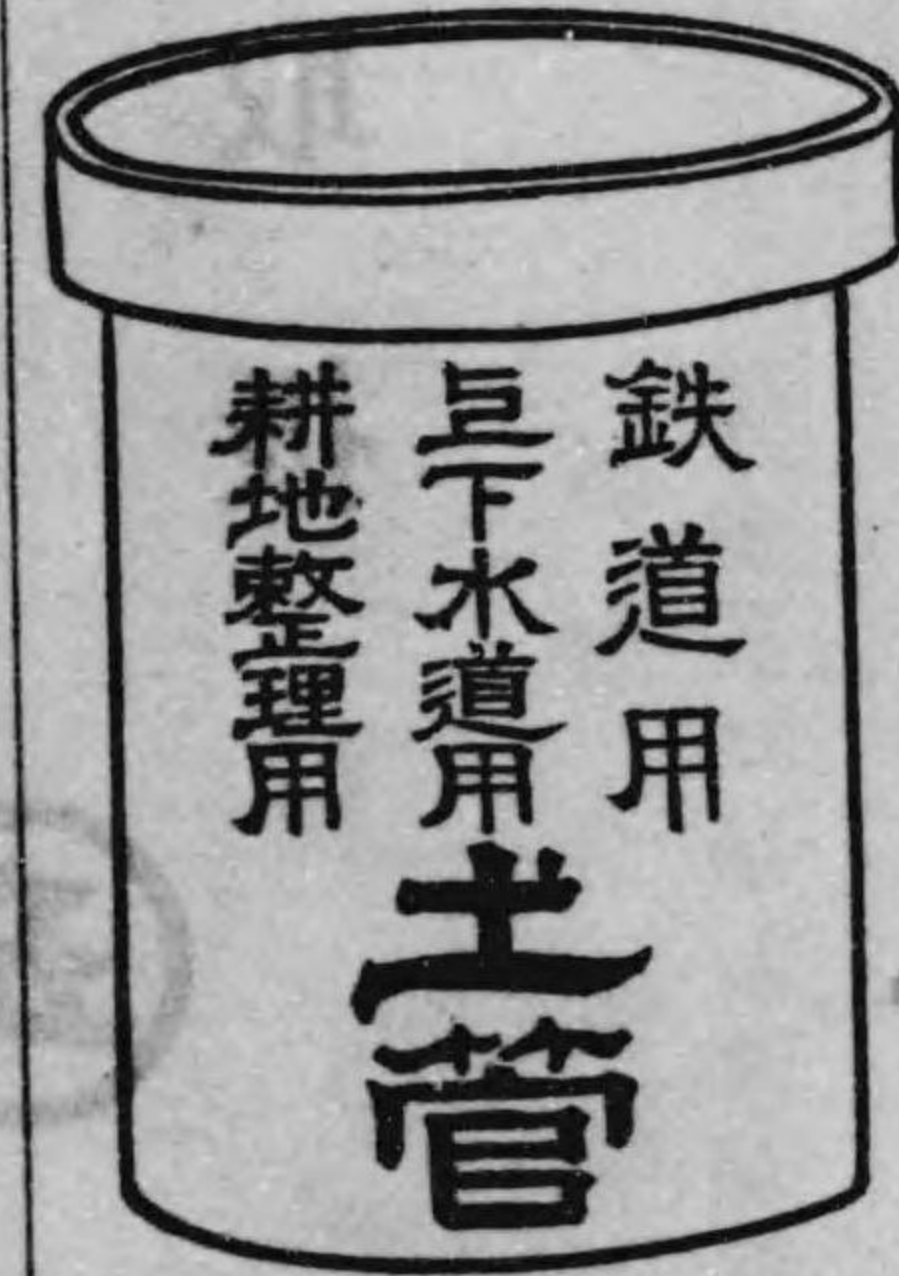
院長 山中 律

副院長 山中 泰造

東京醫學中副院長 山中 貞三

醫員 土肥 林二

醫員 中野 義一



土管製造販賣業

太田支店

太田札右衛門
三州新川町
電話 三〇番

新川町

新 白醬油製造元

鳥居新六
電話三一番

忠

漁網製造
內外麻苧商
船貝類

山下忠平商店

三河國大濱港
電話(子工)又八(子)
振替口座東京二七七六二番

御旅館
御料理

三州刈谷末町

玉川屋

電話二六番

肥料外雜
米穀品
並ニ運送業

通取引店

吉濱

萬屋賢造

電話(ヨケ)又八(ヨ)
辰電話高濱貳五番

營業科目

土管 鐵道用水用 電力整理用
下水用 耕地整理用

三州燒 焜爐類 土甕類
赤釜類 赤瓶類

愛知縣碧海郡高濱町

全 森 吉 商 店

電話 國 六 番
振替口座東京貳壹七四〇番

工場 森 土管製造所

電話 梁 設 中

青物市場

特產物

甘藷 鷄卵 胡瓜 茄子 西瓜

漬瓜 蜜柑 桃 切干 大根

繩

愛知縣碧海郡高濱町大字吉濱

青果乾物
實物屋

小

青物主
市場

內藤小市郎

電話 二五番
國 設 中

旅 館 割 烹 海 水 浴

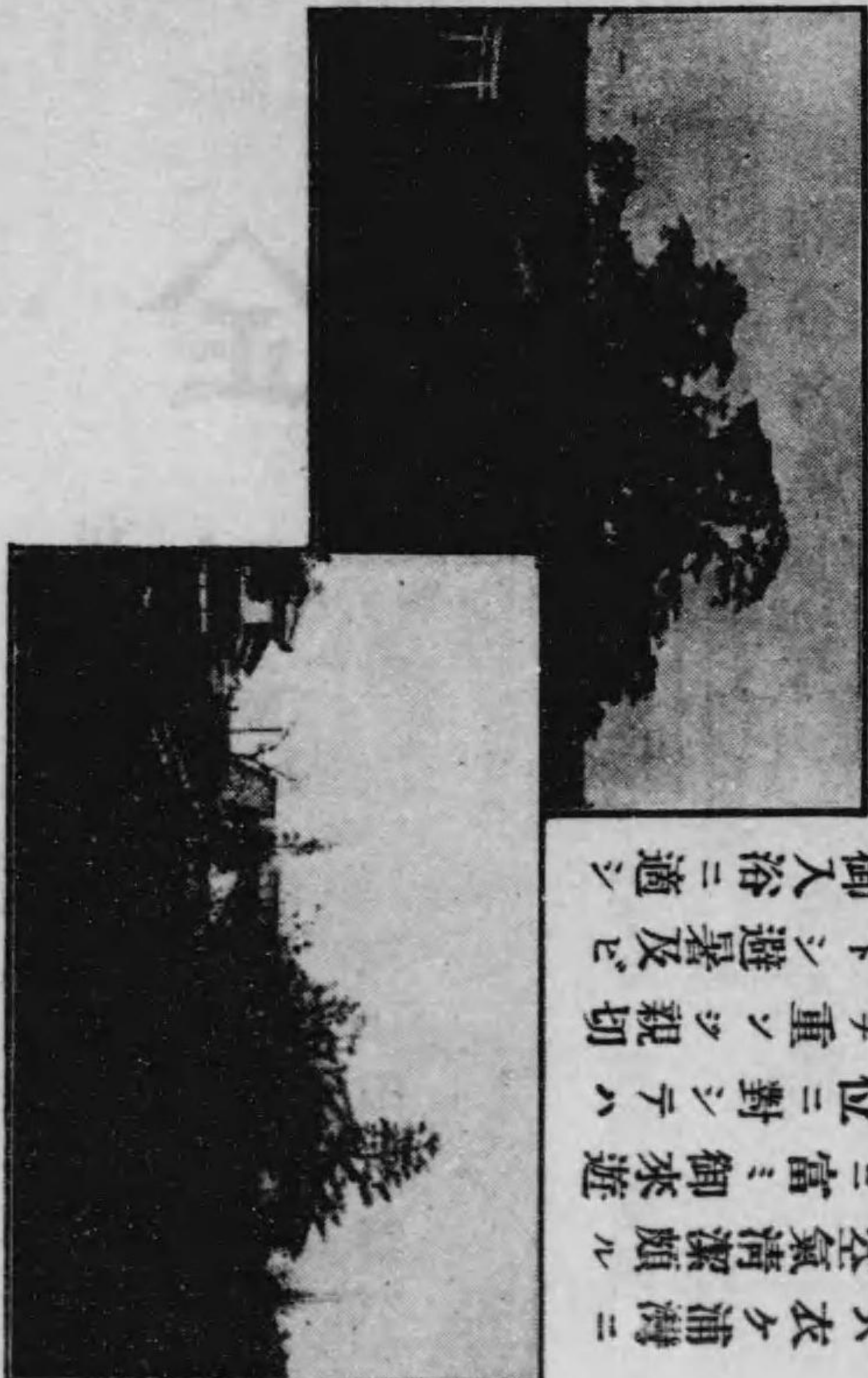
鶴 洲 樓

長電話 一二番

三河鐵道線新川町停車場ヨリ西三丁

入候 奉待ノ程 光來 願御 御愛 候間

弊樓ハ衣ケ浦灣ニ
望ミ空氣清潔願ハ
眺望ニ富ミ御來遊
ノ各位ニ對シテハ
衛生ヲ重ソク親切
ヲ旨トシ避暑及ビ
海水御入浴ニ適シ



吳服太物
祝儀小袖
確實勉強

正 三河屋臺七

刈谷肴町角

(電話四八番)

佛事婚禮引菓子御好ニ應シ調進 季節向新菓取揃
最薄利ヲ以テ御用命ニ從ヒ可申候間多少ニ拘ラズ精々御下命ノ程奉懇願候
殊ニ御進物用ニ御詰並ニ箱詰物
ハ一層注意仕精製致候ニ付御安心ノ上御注文願上候

刈谷名産 德屋菓子舖

各博覽會受領
金銀賞牌

三德屋菓子舖

刈谷肴町



三河大濱町
榭原清吉



參州大濱町
磯貝啓治郎 釀造元

理料御鰻

東

榮

新大店
川濱主
町港驛
驛ヨリ
ヨリ五
リ七八丁
余

鈴木榮八

碧海郡旭村

舊東浦

電話
番四三

五

漁網
麻苧
船具
商

店商濱石

町濱大郡海碧縣知愛
番四二七七版大座口警振
(五)ハ又(五マヤ) 略電

達用御衛官諸



驛港濱高道鐵河三
郎太時谷神 前驛

高濱港驛前
三河鐵道指定貨物取扱人
内國通運株式會社取引店
本神谷儀八運送部
主任 神谷勉三
電話五二番

御休泊處
御料理

刈谷驛前

新花岡屋

電話三五番

最新流行吳服太物類
洋服調進並ニ附屬品

新川町

小倉屋吳服店

電話五番

大濱港驛ヨリ西五丁
電話スミヤ又ハス
振替口座東京二六〇三番
大濱港驛構内ニテ瓶詰ヲ販賣ス



東洋漬物界之泰斗
販路ハ海外ニ及ビ名聲世界ニ高シ



店引取會社株式運通國內
 人扱荷指定會社株式鐵道河三
 店代理會社株式保險生命治明
 店代理會社株式保險災火治明
 店代理會社株式保險海上京東
 前驛町川新

店送運庫倉井淺

店主 淺井孝平

能登輪島
 國產各種
 美術漆器
 御紀念用品
 賞杯類好慶
 調製

其他膳碗各種

愛知縣碧海郡刈谷緒川町

漆器商

武村金三郎

振替口座大阪九一六二番



株式會社	株式會社	株式會社	株式會社
碧海銀行大濱出張店	碧海銀行高濱出張店	碧海銀行新川支店	碧海銀行刈谷支店
電話二番	電話五番	電話一四番	電話八番

三河名産

福壽味噌

藥種賣藥

三州刈谷肴町

醸造本舗 **鬼頭幸七**

電略(ヤマコ)又ハ(ヨ)

料原しこね芋

元造製

八清松高 **㊤** 濱大河三

標商

精撰
味噌醬油



三河國大濱港
高松商店

材木卸小賣
製材、製函

新川町

白竹商店

電略電話一三番

御仕出し

鰻生魚商

刈谷本町

魚安

電略(マルヤス)



各種
自轉車及
附屬品

碧海郡刈谷本町

鈴木自轉車店

◎迅速ニ完全ナル修繕ヲ望ム

諸彦ハ來レ

庭園は幽邃にして
四季の御ながめ宜しく
調味は清鮮を旨とし
御懇切專一に仕るべく候



三河國刈谷町

大喜館

電話一 二 番

豊作は肥料と天候の賜なり

商標 肥料肥 各種

商標肥料穀雜米
町濱大郡海碧縣知愛
店商藏梅貝磯
番二一六九一座口替振京東
(ウ)ハ又(メウ) 號略電發

刈谷驛前
飲食店 大勉強
煙草
花元屋
伊藤金太郎

純良味淋

譽櫻

三州大濱町
磯貝裏雄 釀造元

煉瓦、瓦、土管、種土、
製造業

文 奥谷多策

碧海郡新川町
電話一六番

(34)

新川町
 寫眞と板倉寫眞館
 活版全印刷部

海陸運漕業

問善合資會社

三河國新川町

電話甲二六番

豐後國速見郡別府町

溫泉刈谷分浴場

午前十時より 溫泉は天與
午後十時まで の醫藥なり

刈谷町驛ヨリ北へ二丁

別府

(35)

運轉百便般取扱

大濱港驛前

便利運送店

主任 神谷房一

電話〇へン

電話大濱

愛知縣碧海郡新川町
青物果物 海產物

八百勝市場

伊藤勝太郎

(電略カツ)

大根粕漬

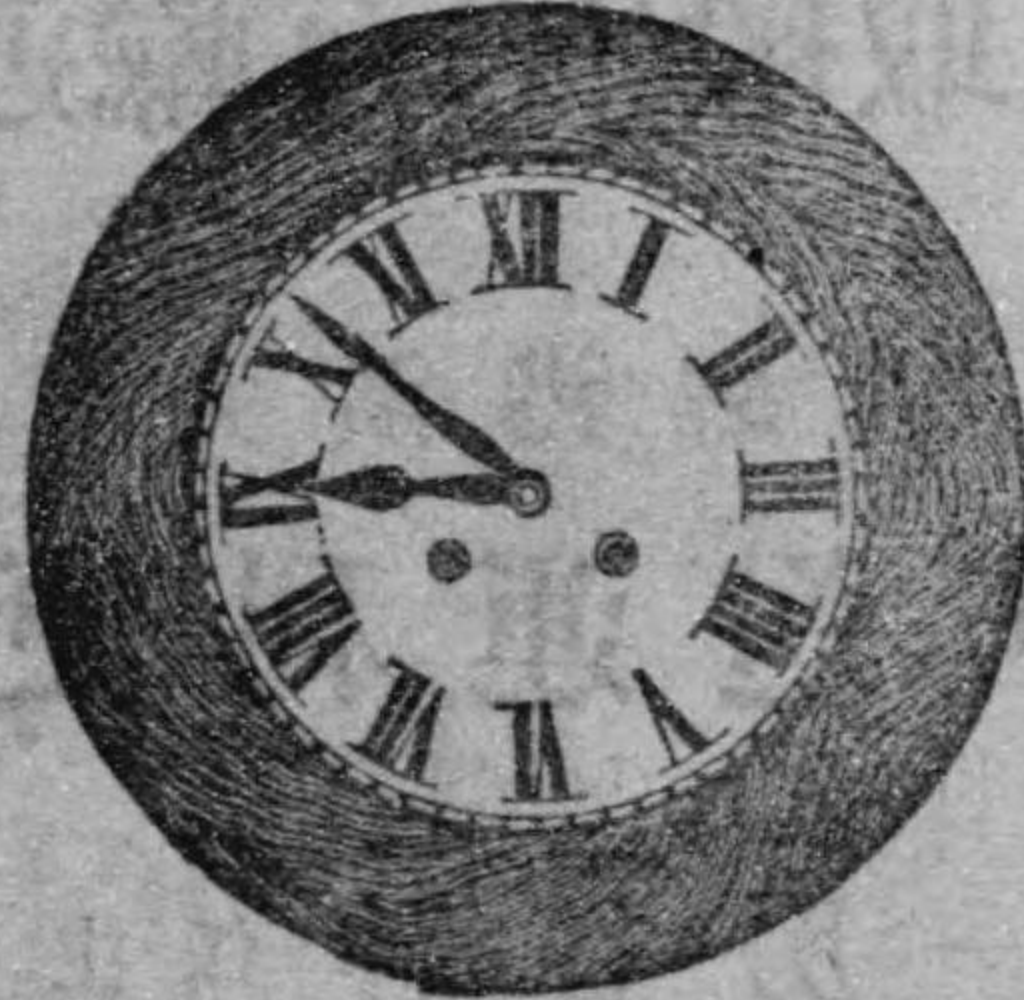
三河國大濱町

製造元 角谷嘉市

(36)

三河鐵道
指定
納品店

各種和洋掛置時計



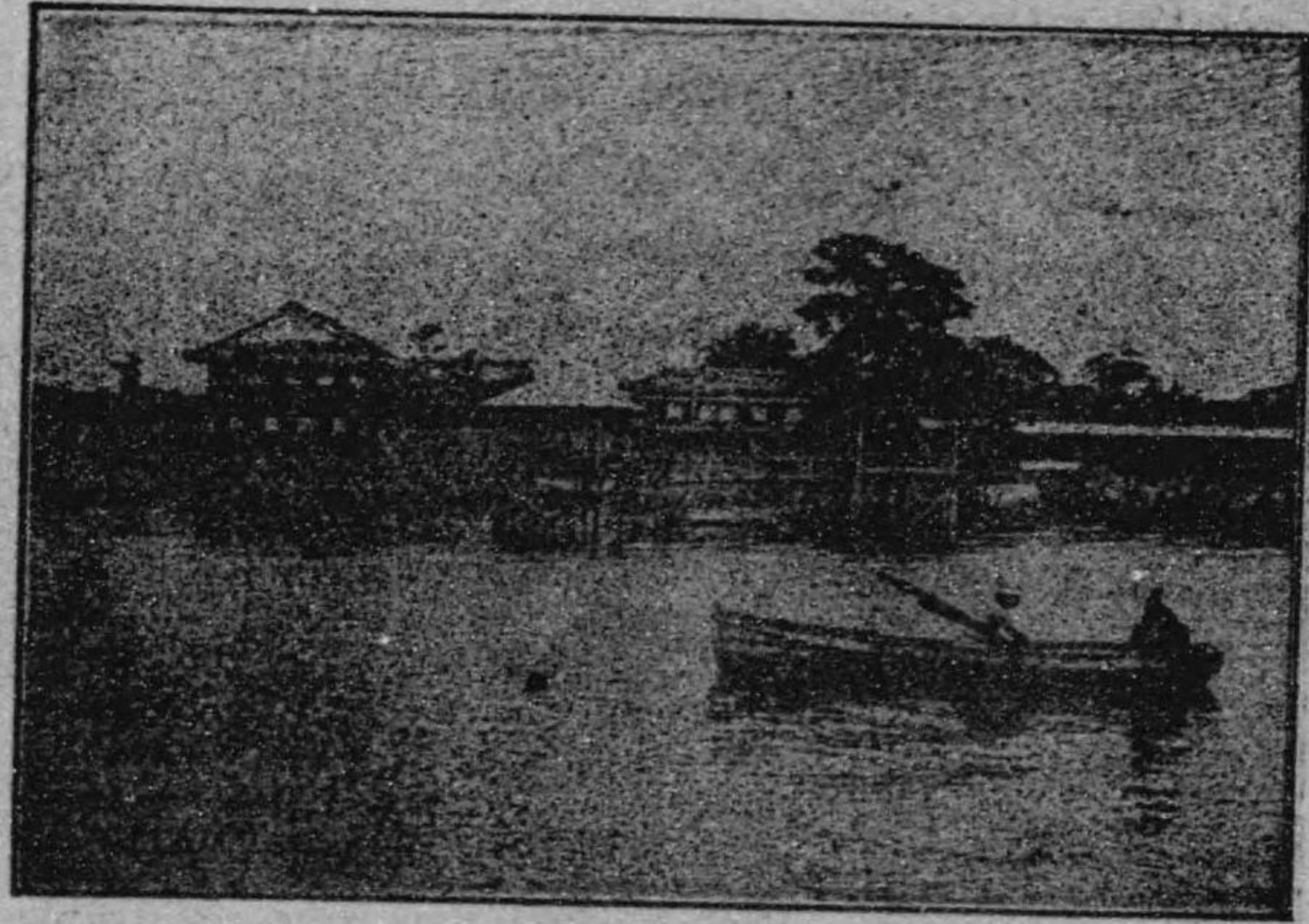
萬國各種懷中時計

並附屬品類一式
刈谷中町北側中程
深井時計店



商標
勝榮乃香
海北製
富醸造場
辨海郡大濱町
醸造元岩田佐太郎

(37)

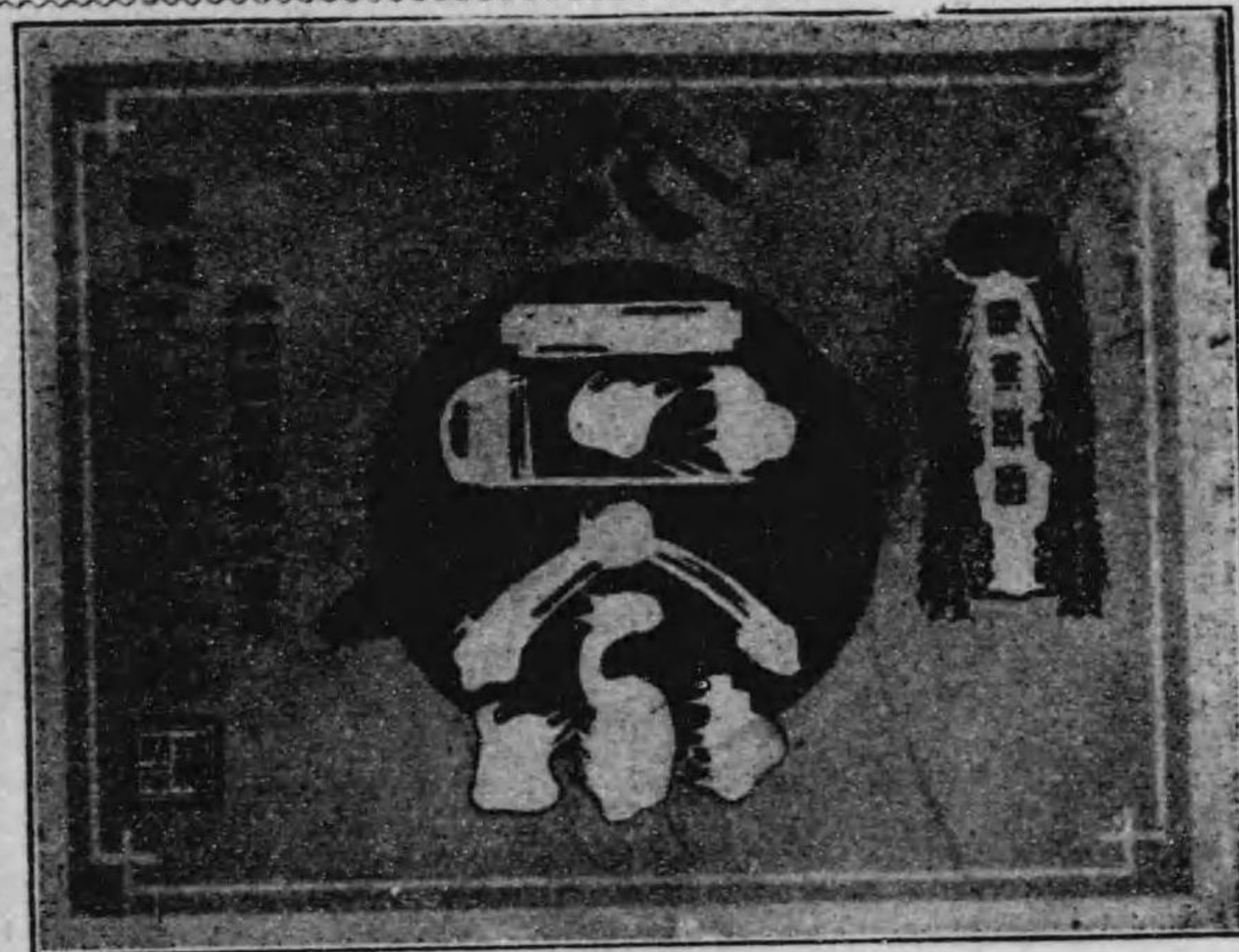


大濱海水浴

海月俱樂部

電話十八番

御手輕特別料理調進仕候



三河國碧海郡大濱町
釀造元杉本八太郎

大正三年七月十五日印刷
大正三年七月十八日發行

愛知縣刈谷町

三河鐵道株式會社

愛知縣刈谷町字下町三十三番地

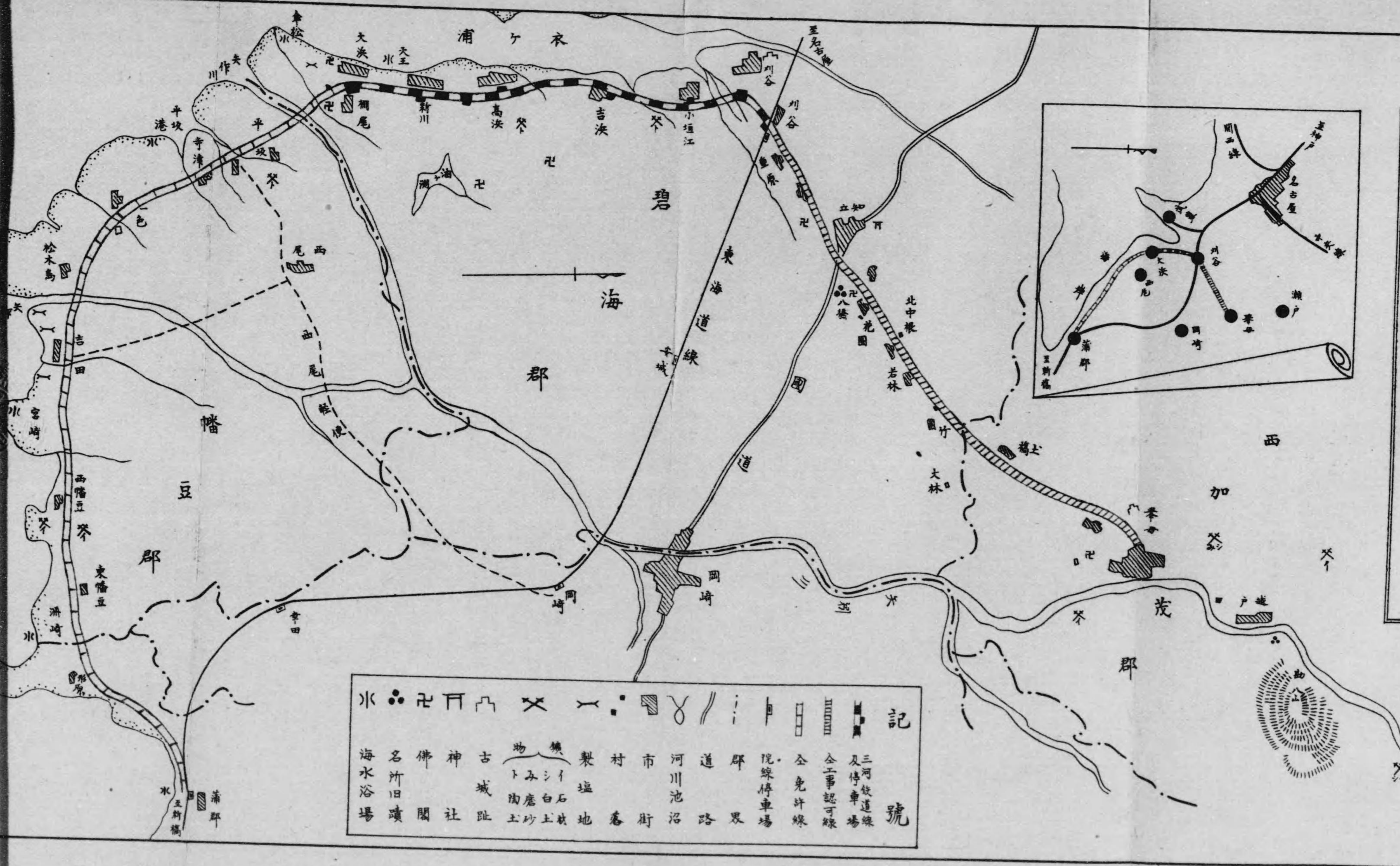
田中啓三郎

全縣全町全番地

印刷所 全活版印刷所

三河鐵道沿線全圖

縮尺十五分之二



水	●	○	□	△	×	—	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	記			
海水浴場	名所旧蹟	佛閣	神社	古城址	物産	製塩地	村巷	市街	河川池沼	道路	郡界	院線停車場	全免許線	全工事認可線	三河鐵道線及停車場	號

339
465

當社線各驛ト岡崎安城熱田及名古屋ノ四驛間賃金ハ別項記載ノ如ク往復ニ限リ社線内ニ
割引ニ候處尙別ニ左表ノ如キ特別割引ノ連絡回数乗車券發賣仕候ニ付詳細ハ最寄驛長ニ
就キ御照合被下度候

◎院線四驛特別連絡回数乗車券

◎四驛連絡乗車券賃金表〔二十五回分〕但通行税ヲ含マス

	岡崎	安城	熱田	名古屋
刈谷町	三、六五	二、一〇	四、三五	五、二五
小垣江	四、二五	二、七〇	四、九五	五、八五
吉濱	四、七〇	三、一五	五、四〇	六、三〇
高濱港	五、四五	三、九〇	六、一五	七、〇五
北新川	五、九〇	四、三五	六、六〇	七、五〇
新川町	六、〇五	四、五〇	六、七五	七、六五
大濱港	六、八〇	五、二五	七、五〇	八、三〇



名古屋市中区
榮町五丁目

地方の
諸君に
書面電信
張り御注文を乞ふ



東洋海に於ける唯一
「デパートメントストア」でありて
華客本位の精進せし商品と諸般の
設備とに相俟つて本店名位の帯
に貴客を博しつゝ何れも金鯉と名探
と共に名古屋市中区に名勝たるを
確信を貴客に奉ると共に其の務
務に巧みなるを以て試みらん
ここに希ふ

店服吳  うとい

339
465

終